

HP Business Service Management

Windows, および Linux オペレーティング・システム用

ソフトウェア・バージョン : 9.10

MyBSM の使用

ドキュメント・リリース日 : 2011 年 8 月 (英語版)

ソフトウェア・リリース日 : 2011 年 8 月 (英語版)



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータ・ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・ソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、**FAR 12.211** および **12.212** の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2005 - 2011 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® および Acrobat® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

AMD および AMD Arrow ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Google™ および Google Maps™ は、Google Inc. の商標です。

Intel®, Itanium®, Pentium®, および Intel® Xeon® は、Intel Corporation の米国およびその他の国の登録商標です。

iPod は Apple Computer, Inc. の商標です。

Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle は、Oracle Corporation またはその子会社、あるいはその両方の登録商標です。

UNIX® は The Open Group の登録商標です。

謝辞

この製品には、**Apache Software Foundation** (<http://www.apache.org>) (英語サイト) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、**JDOM Project** (<http://www.jdom.org>) (英語サイト) が開発したソフトウェアが含まれています。

本製品には、**MX4J プロジェクト** (<http://mx4j.sourceforge.net>) (英語サイト) が開発したソフトウェアが含まれています。

文書の更新

本書の表紙には次の識別情報が含まれています。

- ソフトウェアのバージョンを示すソフトウェア・バージョン番号。
- 文書が更新されるごとに変更される文書発行日。
- 当該ソフトウェア・バージョンのリリース日を示す、ソフトウェア・リリース日。

最新の更新を確認する、あるいは使用している文書が最新版であるかどうかを確認するには、次の URL を参照してください。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを使用するには HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport ID を登録するには、次の URL を参照してください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passport のログイン・ページで [New users - please register] リンクをクリックしてください。

適切な製品サポート・サービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

HP Software サポート Web サイトは、次の場所にあります。

<http://support.openview.hp.com>

この Web サイトでは、連絡先情報や、HP ソフトウェアが提供する製品、サービスおよびサポートの詳細を提供しています。

HP ソフトウェアのオンライン・サポートでは、セルフソルブ機能を提供しています。ビジネス管理に必要な対話型技術サポート・ツールにアクセスするための迅速かつ効率的な手段を提供します。弊社サポートの大切なお客様として、サポート・サイトを使用して次のことが行えます。

- 興味のあるナレッジ文書の検索
- サポート事例や向上のためのリクエストの送信および追跡
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート契約の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- ソフトウェアを利用しているほかのお客様との討論への参加
- ソフトウェア・トレーニングの検索と登録

サポート領域のほとんどでは HP Passport ユーザとして登録しサインインする必要があります。また多くでサポート契約も必要です。HP Passport ID を登録するには、次の URL を参照してください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセス・レベルの詳細については、次の URL を参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

目次

はじめに.....	9
本書の構成.....	9
対象読者.....	10
必要な情報の見つけ方.....	10
その他のオンライン・リソース.....	12
文書の更新.....	13
第 1 章： MyBSM の操作	15
MyBSM の概要.....	16
MyBSM の用語集.....	17
MyBSM でのユーザ権限.....	18
MyBSM ワークスペースの作成方法.....	19
ページ・レイアウトの設定方法 - 使用例のシナリオ.....	22
外部コンポーネントの作成方法.....	27
動的 URL を使用したコンポーネントの作成方法 - 使用例のシナリオ.....	30
コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ方法.....	32
ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更方法.....	34
最大ページ数の変更方法.....	36
MyBSM のユーザ・インタフェース.....	37
MyBSM のトラブルシューティング - 一般的なトピック.....	52
第 2 章： MyBSM の定義済みページおよびコンポーネント.....	53
MyBSM の定義済みページ.....	54
MyBSM レガシページ.....	57
利用可能なコンポーネント.....	59
定義済みの MyBSM ページ - ユーザ・インタフェース.....	81
索引.....	97

はじめに

本書では、1つの場所にあるさまざまな Business Service Management アプリケーションおよびレポート機能で作成された情報を、MyBSM を使用して表示する方法について説明します。

本章の内容

- ▶ 本書の構成 (9 ページ)
- ▶ 対象読者 (10 ページ)
- ▶ 必要な情報の見つけ方 (10 ページ)
- ▶ その他のオンライン・リソース (12 ページ)
- ▶ 文書の更新 (13 ページ)

本書の構成

本書は、次の各部で構成されています。

第 1 章 MyBSM の操作

MyBSM の概要を示し、1つの場所にあるさまざまな Business Service Management アプリケーションおよびレポート機能で作成された情報を表示するために、MyBSM を使用してロールベースのワークスペースを作成する方法について説明します。

第 2 章 MyBSM の定義済みページおよびコンポーネント

MyBSM で利用できる、さまざまな BSM アプリケーションの標準設定のページやコンポーネントについて説明します。

対象読者

本書は、次の HP Business Service Management 利用者を対象としています。

- ▶ HP Business Service Management 管理者
- ▶ HP Business Service Management エンド・ユーザ

本書の読者は、エンタープライズ・アプリケーションの操作と使用に関する知識を備え、HP Business Service Management およびエンタープライズの監視と管理の概念に習熟している必要があります。

必要な情報の見つけ方

本書は、HP Business Service Management 文書ライブラリに含まれています。この文書ライブラリは、すべての Business Service Management ドキュメントへの単一のアクセス・ポイントを提供します。

文書ライブラリにアクセスするには、次の手順で行います。



- ▶ Business Service Management で、[ヘルプ] > [文書ライブラリ] を選択します。
- ▶ Business Service Management ゲートウェイ・サーバ・マシンから、[スタート] > [プログラム] > [HP Business Service Management] > [Documentation] を選択します。



トピック・タイプ

本書では、各サブジェクト・エリアをトピックに分けて説明しています。個々のトピックには、サブジェクト固有の情報モジュールが含まれます。トピックは、通常、その中に含まれる情報のタイプに従って分類されています。

この構造は、ユーザが各時点で必要とする情報のタイプに合わせてドキュメントを分割することによって、個々の情報に簡単にアクセスできるように設計されています。

使用されている主なトピックの種類は、「**概念**」, 「**タスク**」, 「**参照情報**」です。これらのトピック・タイプは、アイコンによって視覚的に区別されています。

トピック・タイプ	説明	使用目的
概念 	背景情報, 説明情報, または概念的情報。	特定の機能について一般的な情報を得る。
タスク 	<p>手順を示すタスク: アプリケーションの操作および目的の達成に役立つ, 順を追ったガイダンス。タスク・ステップによっては, サンプル・データを使用した例が示されます。</p> <p>タスク・ステップは, 番号が付いているものと番号なしのものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 番号付きの手順: 各ステップを順番どおりに進めることによって実行されるタスクです。 ▶ 番号なしの手順: どのような順にでも実行できる, 個々に完結する操作のリストです。 <p>使用例のシナリオのタスク: 具体的な状況に関するタスクの実行方法を示した例です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ タスクの全体的な流れを把握する。 ▶ 番号付きタスクに示されたステップを順に実行し, タスクを完了する。 ▶ 番号なしのタスク内のステップを実行することにより, 独立した操作を行う。 <p>実際の場面でタスクをどのように実行できるかを知る。</p>

トピック・タイプ	説明	使用目的
参照情報 	<p>一般的な参照情報：参照情報としての資料の詳細リストと説明です。</p> <p>ユーザ・インタフェースの参照情報：特定のユーザ・インタフェースについて詳しく説明する、専門的な参照情報トピックです。通常、製品の [ヘルプ] メニューから [このページのヘルプ] を選択すると、ユーザ・インタフェースのトピックが表示されます。</p>	<p>特定の状況に関連した具体的な参照情報を検索する。</p> <p>1つ以上の特定のユーザ・インタフェース要素（ウィンドウ、ダイアログ・ボックス、ウィザードなど）に入力する情報や使用方法などに関する具体的な情報を調べる。</p>
トラブルシューティングおよび制限事項 	<p>トラブルシューティングおよび制限事項：遭遇することが多い問題とその解決方法について説明するとともに、機能領域または製品領域の制限事項を示す、専門的な参照情報トピックです。</p>	<p>特定の機能を使用する前や、ソフトウェアの使用上の問題に直面した場合などに、重要な問題についての理解を深める。</p>

その他のオンライン・リソース

トラブルシューティングとナレッジ・ベース：HP Software サポート Web サイトのトラブルシューティング・ページにアクセスします。ここで、セルフ・ソルブ技術情報を検索できます。[ヘルプ] > [トラブルシューティングとナレッジ・ベース] を選択します。この Web サイトの URL は、<http://support.openview.hp.com/troubleshooting.jsp> です。

HP Software サポート：HP Software サポート Web サイトにアクセスします。このサイトで、セルフ・ソルブ技術情報を参照できます。また、ユーザ・ディスカッション・フォーラムへの投稿や検索、サポート依頼の送信、パッチや更新されたドキュメントのダウンロードなども行えます。[ヘルプ] > [HP Software サポート] を選択します。この Web サイトの URL は、<http://support.openview.hp.com> です。

ほとんどのサポート・エリアでは、HP Passport ユーザとして登録し、ログインする必要があります。また、多くの場合、サポート契約も必要です。

アクセス・レベルの詳細については、次の URL を参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport ユーザ ID の登録は、次の場所で行います。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

HP Software Web サイト : HP ソフトウェア Web サイトにアクセスします。このサイトでは、HP ソフトウェアの製品に関する最新情報を提供します。新しいソフトウェアのリリース、セミナー、展示会、カスタマ・サポートなどの情報も含まれています。[ヘルプ] > [HP Software Web サイト] を選択します。この Web サイトの URL は、

<http://www8.hp.com/jp/ja/software/enterprise-software.html> です。

文書の更新

HP ソフトウェアは、製品のドキュメントを新しい情報で継続的に更新しています。

最新のアップデートまたはドキュメントの最新版を使用していることを確認するには、HP ソフトウェア製品マニュアル Web サイト (<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>) にアクセスしてください。

はじめに

1

MyBSM の操作

本章の内容

概念

- ▶ MyBSM の概要 (16 ページ)
- ▶ MyBSM の用語集 (17 ページ)
- ▶ MyBSM でのユーザ権限 (18 ページ)

タスク

- ▶ MyBSM ワークスペースの作成方法 (19 ページ)
- ▶ ページ・レイアウトの設定方法 - 使用例のシナリオ (22 ページ)
- ▶ 外部コンポーネントの作成方法 (27 ページ)
- ▶ 動的 URL を使用したコンポーネントの作成方法 - 使用例のシナリオ (30 ページ)
- ▶ コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ方法 (32 ページ)
- ▶ 最大ページ数の変更方法 (36 ページ)

参照情報

- ▶ MyBSM のユーザ・インタフェース (37 ページ)

概念

MyBSM の概要

MyBSM は HP Business Service Management の操作に使用する、カスタマイズ可能な Web 2.0 ユーザ環境です。MyBSM 管理者は、実際の作業を行うユーザやシニア・マネージメントなど、さまざまなユーザ向けのロールベースのワークスペースを作成できます。MyBSM ワークスペースを使用すると、異なる BSM アプリケーションやレポート間で円滑にやり取りできます。

MyBSM 管理者は、特定のユーザやユーザ・グループが関心を持つコンポーネントを含むページをセットアップします。各ページでのページ上のコンポーネントのレイアウトおよびコンポーネント間の相互作用は、管理者が定義します。

これらの MyBSM 用語の定義については、17 ページ「MyBSM の用語集」を参照してください。

メモ : BSM メニュー・コマンドの **[管理]** > **[このページにリンク]** > **[埋め込まれたリンク]** オプションを使用して、リンクを生成できます。このリンクは、BSM 情報を表示するために外部ポータルにコピーできます。MyBSM から **[このページにリンク]** を選択して外部ポータルでそのリンクを使用した場合、ページ自体のみが表示されます (BSM メニューは表示されません)。詳細については、『Platform Administration』の「Linking to a Specific Page」を参照してください。

MyBSM の用語集

MyBSM ワークスペースには、次が含まれます。

- ▶ **コンポーネント** : MyBSM ユーザのビジネス・タスクに関連する情報が表示される、ページ上の領域です。

コンポーネント・ギャラリーには、MyBSM 内で使用できるアプリケーション・コンポーネントが表示され、ソース・アプリケーションごとにグループ化されています。詳細については、59 ページ「利用可能なコンポーネント」を参照してください。

ページには、コンポーネント・ギャラリーのコンポーネントを追加できます。ページ上のほかのコンポーネントとの相互作用も可能な、外部 URL に基づいたコンポーネントを追加することもできます。詳細については、27 ページ「外部コンポーネントの作成方法」を参照してください。

- ▶ **ページ** : ページは、一緒に表示され、相互作用し合う複数のコンポーネントで構成されています。

ページは、アプリケーションごとにグループ化された、すぐに使用できるページが格納されたページ・ギャラリーから開くことができます。詳細については、54 ページ「MyBSM の定義済みページ」を参照してください。

利用可能なコンポーネントや外部コンポーネントを使用して、新しいページを簡単に作成することもできます。詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

- ▶ **ワイヤリング** : ページ内では、コンポーネント間での情報の交換が可能なため、1 つのコンポーネントが別のコンポーネントで発生した変更に対応できます。たとえば、あるコンポーネントで CI を選択した場合に、同じページにあるほかのコンポーネントでもその CI に焦点を当てるようにページをセットアップできます。

標準設定のページではワイヤリングが事前定義されています。標準設定以外のページについてはワイヤリングを定義できます。詳細については、32 ページ「コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ方法」を参照してください。

- ▶ **レイアウト** : レイアウトとは、ページ上でのコンポーネントの配置方法を指します。コンポーネントは、水平、垂直、タブに分割などの方法で配置できます。詳細については、22 ページ「ページ・レイアウトの設定方法 - 使用例のシナリオ」を参照してください。

MyBSM でのユーザ権限

MyBSM のコンポーネントやページを操作するための権限は、[管理] > [プラットフォーム] > [ユーザおよび権限] で定義されます。このトピックの詳細については、『Platform Administration』の「Permissions Overview」を参照してください。

ユーザを対象に定義できる操作は、次のような MyBSM 内の領域に依存します。

- ▶ **定義済みページ**：これらのページは、すぐ使用できるように事前に定義されています。ユーザがこれらのページでコンポーネントを追加、変更、または削除することはできません。ユーザ権限で定義できる操作は、ユーザがこれらのページを表示できるようにするための**ビュー**のみです。
- ▶ **ユーザ・ページおよびユーザ・コンポーネント**：ユーザには、**追加、変更、ビュー、削除、フル・コントロール**の各操作を、ユーザ定義のページおよびコンポーネントで実行するための権限を付与できます。

メモ：MyBSM のユーザについて設定した権限は、サービス状況内のユーザにも影響を与えます。

タスク

MyBSM ワークスペースの作成方法

このセクションでは、MyBSM のセットアップ方法について説明します。次のタスクは省略可能で、任意の順序で実行できます。

- ▶ 19 ページ「ページを開く」
- ▶ 20 ページ「ページ・レイアウトの設定」
- ▶ 20 ページ「ページへのコンポーネントの追加」
- ▶ 21 ページ「コンポーネント間の相互作用の定義」
- ▶ 21 ページ「コンポーネント・ギャラリーへの外部コンポーネントの追加」
- ▶ 21 ページ「ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更」
- ▶ 22 ページ「ページを閉じるか削除する」

ページを開く

MyBSM には、さまざまな BSM アプリケーションの標準設定のページが用意されています。詳細については、54 ページ「MyBSM の定義済みページ」を参照してください。標準設定のページは、ユーザが作成および保存したすべてのページとともに、ページ・ギャラリーに配置されます。

- ▶ ページを開くには、ワークスペースの右上の領域にある、ページ管理ツールバーの [ページの選択] ドロップダウン・リストから対象となるページを選択します。[ページの選択] にページ名の一部を入力して、ドロップダウン・リストに表示されるページ数を制限することもできます。
- ▶ 新しいページを作成するには、ページ管理ツールバーの [新規ページ] ボタンをクリックします。

ページ・レイアウトの設定

ページを開いてから、ページ上でのコンポーネントの配置方法を設定できます。MyBSM では、各レイアウトを水平 (各コンポーネントを並べて表示)、垂直 (各コンポーネントを上下に表示)、またはタブ付き領域として定義できます。

詳細については、37 ページ「MyBSM ワークスペース」を参照してください。

レイアウト定義の例については、22 ページ「ページ・レイアウトの設定方法 - 使用例のシナリオ」を参照してください。

ページへのコンポーネントの追加

59 ページ「利用可能なコンポーネント」で説明されているように、MyBSM には BSM アプリケーションの標準設定のコンポーネントが用意されています。標準設定のコンポーネントは、ユーザが追加したすべての外部コンポーネントとともに、コンポーネント・ギャラリーに配置されます。

次のいずれかの方法で、ページにコンポーネントを追加できます。

- ▶ 空のレイアウト領域で **[コンポーネントの追加]** ボタンをクリックします。コンポーネント・ギャラリーでコンポーネントをダブルクリックして、レイアウト領域に配置します。
- ▶ ページ管理ツールバーの **[コンポーネント]** ボタンをクリックします。コンポーネント・ギャラリーでコンポーネントを選択して、ページ上の領域にドラッグします。

詳細については、45 ページ「[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

ページにコンポーネントを追加する際には、次の点に注意します。

- ▶ 対象の領域が **[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス** で隠れる場合は、**ダイアログ・ボックスのタイトル・バー** をクリックして、画面上の別の場所にドラッグします。
- ▶ 新しいコンポーネントを、コンポーネントがすでに定義されている対象領域にドラッグする場合は、コンポーネントの白く表示されている部分ではなく、対象領域の**タイトル・バー** に新しいコンポーネントをドラッグします。

- ▶ パフォーマンスの問題が発生するのを避けるため、MyBSM では 1 ページに開けるレポートは最大 10 個になっています。この設定を変更するには、[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定] に移動し、[ファウンデーション] > [レポート生成] を選択し、[MyBSM のレポートの最大数] の設定を変更します。

コンポーネント・ギャラリーへの外部コンポーネントの追加

URL を MyBSM 内のコンポーネントとして追加できます。ページを開いて、ページ管理ツールバーの [コンポーネント] ボタンをクリックします。

[外部コンポーネントの追加] ボタンをクリックし、27 ページ「外部コンポーネントの作成方法」の説明に従ってコンポーネントを定義します。新しいコンポーネントがコンポーネント・ギャラリーに追加され、任意のページに追加できるようになります。

詳細については、47 ページ「[新規コンポーネント] / [コンポーネントの編集] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

コンポーネント間の相互作用の定義

MyBSM でのページ上のコンポーネント間の相互作用は、「ワイヤリング」と呼ばれます。コンポーネントをページ上に配置したあと、コンポーネント間での相互作用を定義できます。標準設定のページには事前にワイヤリングが定義されています。標準設定のワイヤリングの定義は変更も可能です。詳細については、51 ページ「[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

タスクの詳細については、32 ページ「コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ方法」を参照してください。

ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更

MyBSM のページ・ギャラリーおよびコンポーネント・ギャラリーには、ページやコンポーネントの整理に役立つ標準設定のカテゴリがあります。カテゴリの追加、ユーザ定義カテゴリの編集または削除、ページやコンポーネントに対するカテゴリの追加や削除を行うことができます。

タスクの詳細については、34 ページ「ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更方法」を参照してください。

ページを閉じるか削除する

ページを閉じるには、ページ右上角にある閉じるアイコンをクリックします。ワークスペースでページが閉じますが、ページ・ギャラリーからは削除されません。

ページをページ・ギャラリーから削除するには、[ページ ギャラリー] ボタンをクリックし、ページを選択して削除します。詳細については、42 ページ「[ページ ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

ページ・レイアウトの設定方法 - 使用例のシナリオ

次のセクションでは、ページ上のコンポーネントのレイアウトを設定する方法の例を示します。レイアウトによって、ページ上の領域の数、各コンポーネントの配置方法 (水平, 垂直, タブ付き領域) などのページの外観が定義されます。

ページ上に配置するコンポーネントやそれぞれの配置方法を事前に計画し、その内容に従ってページ・レイアウトを設定することをお勧めします。

このタスクは、次の手順で構成されています。

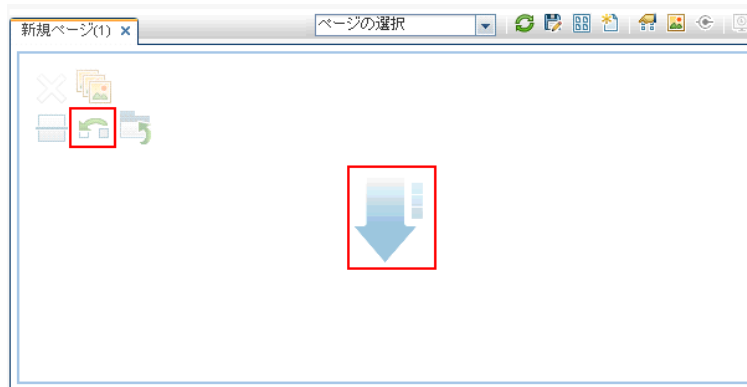
- ▶ 23 ページ「背景」
- ▶ 23 ページ「ページを開く」
- ▶ 24 ページ「ページ・レイアウトの水平への切り替え」
- ▶ 24 ページ「ページの分割」
- ▶ 25 ページ「左側の表示枠へのタブ・レイアウトの作成」
- ▶ 26 ページ「結果」

1 背景

ACME 社で管理者として働く Adam は、ページの左側に 2 つのコンポーネントをタブ形式で配置し、同じページの右側に垂直領域（各コンポーネントを上下に配置）を配置したページをセットアップしようと考えています。

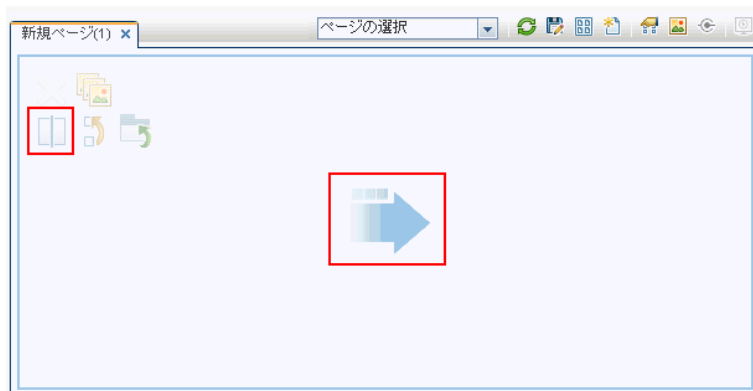
2 ページを開く

単一の垂直レイアウトを標準設定で備えた、新しいページを開きます。



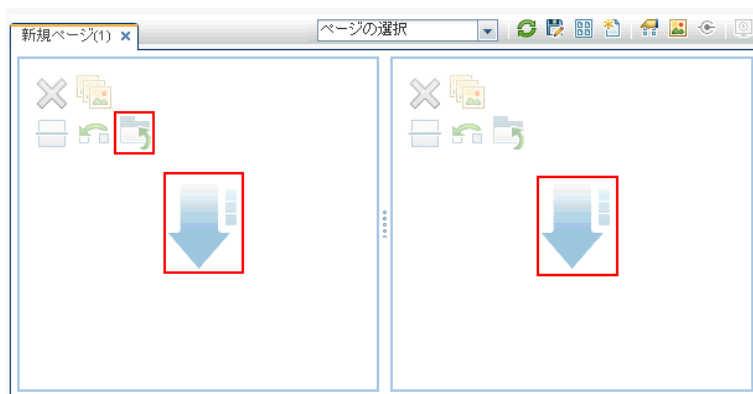
3 ページ・レイアウトの水平への切り替え

左上の領域のレイアウト・ツールから、[水平に切り替え] をクリックします。
レイアウトが水平方向に変更されます。



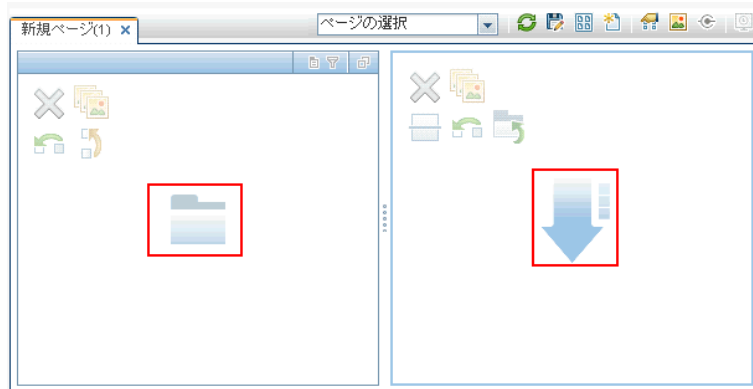
4 ページの分割

次に [分割] をクリックして、レイアウトを左側と右側の表示枠に分けます。



5 左側の表示枠へのタブ・レイアウトの作成

左側のレイアウト内で [タブに切り替え] をクリックして、左側の表示枠にタブ付き領域を作成します。



6 結果

Adam はここで、レイアウト内の 2 つの領域にコンポーネントを追加します。画面の左側に追加されたコンポーネント (Top View および Topology Map) はタブに分かれて表示され、右側に追加されたコンポーネント (Hierarchy および Geographical Map) は垂直に並んで表示されます。

The screenshot displays a software interface with four main panels. The top panel contains tabs for 'Top View', 'Topology Map', 'Geographic Map', and '360° View'. Below these are four sub-panels:

- Top View:** A network diagram showing 'Internal Ap' at the top, connected to 'test-1111', 'LQA_RUM', 'Transaction_RU', and 'New York'. Below these are 'Web Service Scri' and three '01-VisitAves13' nodes.
- Topology Map:** A similar network diagram showing the same components.
- Hierarchy:** A table listing components with columns for '名前' (Name), 'ステータス' (Status), 'ビジネス影響度' (Business Impact), and 'アプリケーション' (Application). The table contains two rows: 'WebServiceScript' and '01-VisitAves13'. Below the table is the text '最終更新日: 2011/11/21 15:22:19'.
- Geographical Map:** A map showing 'Africa' and 'Atlantic Ocean'. It includes a scale bar for '3000 miles' and the text '(データ読み込み中.)' and '最終更新日: 2011/11/21 15:22:20'.

外部コンポーネントの作成方法

次のタスクでは、URL を使用してコンポーネントを作成する方法について説明します。入力した URL がそのまま開かれる静的 URL を使用できます。また、コンポーネントの URL がページ上のほかのコンポーネントに応答するように動作する動的 URL を作成することもできます。

動的 URL に基づいてコンポーネントを作成する方法を紹介したシナリオについては、30 ページ「動的 URL を使用したコンポーネントの作成方法 - 使用例のシナリオ」を参照してください。

メモ : 外部コンポーネントの URL は、`https://`、`http://`、`ftp://` のいずれかの文字列で開始する必要があります。

このタスクは、次の手順で構成されています。

- ▶ 27 ページ「[コンポーネントの追加] ダイアログ・ボックスの表示」
- ▶ 27 ページ「URL の静的部分の定義」
- ▶ 28 ページ「コンポーネントのカテゴリ分け (任意)」
- ▶ 28 ページ「URL の動的部分の定義」

1 [コンポーネントの追加] ダイアログ・ボックスの表示

コンポーネント・ギャラリーを開き、コンポーネント・ギャラリー・ツールバーの **[外部コンポーネントの追加]** ボタンをクリックします。**[新規コンポーネント]** ダイアログ・ボックスが表示されます。詳細については、47 ページ「[新規コンポーネント] / [コンポーネントの編集] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

2 URL の静的部分の定義

[新規コンポーネント] ダイアログ・ボックスの上の領域に、コンポーネント名とコンポーネントの URL を入力します。

- ▶ 静的 URL を使用してコンポーネントを作成するには、完全な URL を入力します。
- ▶ 動的 URL を使用してコンポーネントを作成するには、URL の静的な部分のみを入力します。

3 コンポーネントのカテゴリ分け（任意）

コンテンツの整理を容易にするために、ページおよびコンポーネントを標準設定のカテゴリまたはユーザ定義のカテゴリに割り当てることができます。詳細については、34 ページ「ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更方法」を参照してください。

[**コンポーネントのカテゴリ分け**] 領域で、コンポーネントに割り当てるカテゴリを 1 つ以上選択します。この設定は任意です。

4 URL の動的部分の定義

動的 URL を使用してコンポーネントを作成する場合は、次の手順で行います。

- a [**ワイヤリング コンテキスト**] 領域で、1 つ以上のコンテキスト（このコンテキストの属性を URL パターンの定義に使用）を次のように選択します。
 - ▶ CI が選択されているコンポーネントに応答するように URL が動作する必要がある場合は、[**CIChange**] を選択します。
 - ▶ イベントが選択されているコンポーネントに応答するように URL が動作する必要がある場合は、[**EventChange**] を選択します。
 - ▶ ビューが選択されているコンポーネントに応答するように URL が動作する必要がある場合は、[**ViewChange**] を選択します。
- b [**URL パラメータと値**] 領域で、URL パターンの定義に使用する URL パラメータを 1 つ以上追加します。次のパターンを使用して、URL のパス、クエリ、URL のフラグメントを定義できます。

`http(s)://domain/ <path> ? <query_string> # <fragment>`

たとえば、動的 URL パラメータを使用すれば次のいずれかを作成できます。

- ▶ `www.google.com/search?hl=<<lang>>&q=<<viewID>>`
- ▶ `en.wikipedia.org/wiki/<<articleName>>`

次のようなパターンにするとします。

`http://download.oracle.com/javase/1.4.2/docs/api/<<className>>.html#<<methodName>>` では、次のようになります。

`http://download.oracle.com/javase/1.4.2/docs/api/java/net/URL.html#toString()`（これは有効な URL です）。

- c **〔属性〕** リストには, **〔ワイヤリング コンテキスト〕** 領域で選択したコンテキストに基づいた, URL パターンの構築に使用できる属性の一覧が含まれます。属性をパラメータ値として使用するためには, **〔属性〕** リストの属性を URL パラメータの **〔値〕** 領域にドラッグします。

URL パターン 領域には, ダイアログ・ボックス上部の領域にある静的 URL を使用して構築された動的 URL と, 定義した URL パラメータが表示されます。

動的 URL を使用したコンポーネントの作成方法 - 使用例のシナリオ

ACME 社で管理者として働く Jane は、ページの左側にサービス状況のトポロジ・マップを表示し、右側には ACME 社のサポート・ディレクトリを表示するように MyBSM にページをセットアップしようと考えています。

トポロジ・マップで CI が選択されると、この CI に問題が発生した場合の連絡先の詳細がサポート・ディレクトリに表示されます。

ACME サポート・ディレクトリの動的 URL は、次のようになります。

`http://www.acme.com/support/search?q= <連絡先>`

ヒント: このシナリオでは、動的 URL はクエリ文字列を使用してビルドされています。次のパターンを使用して、URL のパス、URL のフラグメントを定義することもできます。`http(s)://domain/ <path> ? <query_string> # <fragment>`

- 1 Jane は新しいページを開き、2 つの表示枠に分割します。コンポーネント・ギャラリーを開き、トポロジ・マップを左側の表示枠にドラッグします。続いて、コンポーネント・ギャラリー・ツールバーの **[外部コンポーネントの追加]** ボタンをクリックします。
- 2 **[コンポーネントの追加]** ダイアログ・ボックス上部の領域で、コンポーネント名に「ACME サポート」と入力し、サポート・ディレクトリの URL の静的な部分を次のように入力します。`http://www.acme.com/support/search`
- 3 **[ワイヤリング コンテキスト]** 領域で、コンテキスト・リストに **[CIChange]** を追加します。これにより、トポロジ・マップで CI が選択されると、サポート・ディレクトリが応答します。
- 4 **[URL パラメータと値]** 領域で、q と名前を付けた URL パラメータを追加します。

ACME 社では `<< CIContact >>` という名前の CI 属性を使用して、CI に問題がある場合の連絡先を定義します。**[属性]** リストには、属性 `<< CIContact >>` が含まれます。この属性を q という名前のパラメータの **[値]** フィールドにドラッグします。

URL パターンは次のようになります。

[http://www.acme.com/support/search?q= <連絡先>](http://www.acme.com/support/search?q=<連絡先>)

- 5 [OK] をクリックしてコンポーネントを保存し、続いて ACME サポート・コンポーネントを右側の表示枠にドラッグします。
- 6 次に、ページ管理ツールバーの [**ワイヤリング**] ボタンをクリックして、トポロジ・マップのソース・コンポーネントから ACME サポートのターゲット・コンポーネントに **CIChange** コンテキストが送信されるように、ページのワイヤリングを定義します。

トポロジ・マップで CI が選択されると、その CI に関する連絡先の詳細がサポート・ディレクトに表示されます。

コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ方法

次のタスクでは、ページ上のコンポーネント間のワイヤリングを設定する方法について説明します。ワイヤリングは、コンポーネント間の相互作用を定義します。

あるコンポーネントから、そのコンポーネントの変更内容を示すワイヤリング・コンテキストを別のコンポーネントに送信し、これを受け取ったコンポーネントで、変更に応答した動作を実行できます。たとえば、[CIChange] ワイヤリング・コンテキストをトップ・ビュー（ターゲット・コンポーネント）に送信するソース・コンポーネントとして、ビュー・セレクタが定義されているとします。この場合にビュー・セレクタで CI を選択すると、トップ・ビューでもこの CI に焦点が当てられます。

標準設定のページには事前にワイヤリングが定義されています。標準設定のワイヤリングの定義は変更も可能です。

このタスクは、次の手順で構成されています。

- ▶ 32 ページ「[ワイヤリング] ダイアログ・ボックスの表示」
- ▶ 32 ページ「ワイヤリングのソース・コンポーネントの選択」
- ▶ 33 ページ「ソース・コンポーネントから送信するコンテキストの選択」
- ▶ 33 ページ「ワイヤリングのターゲット・コンポーネントの選択」

1 [ワイヤリング] ダイアログ・ボックスの表示

ワイヤリングを設定するページを開いて、ページ管理ツールバーの [**ページワイヤリング**] ボタンをクリックします。[**ワイヤリング**] ダイアログ・ボックスが表示されます。詳細については、51 ページ「[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

2 ワイヤリングのソース・コンポーネントの選択

[ワイヤリング] ダイアログ・ボックスの左側にある [**ソース コンポーネント**] のリストから、1 つ以上のターゲット・コンポーネントにコンテキストを送信するコンポーネントを選択します。

3 ソース・コンポーネントから送信するコンテキストの選択

[コンテキスト] のリストに、選択したソース・コンポーネントから送信できるコンテキストが表示されます。

- ▶ ソース・コンポーネントで異なる CI が選択されている場合にどのコンポーネントに通知するかを制御するには、[CIChange] を選択します。
- ▶ ソース・コンポーネントで異なるイベントが選択されている場合にどのコンポーネントに通知するかを制御するには、[EventChange] を選択します。
- ▶ ソース・コンポーネントで異なるビューが選択されている場合にどのコンポーネントに通知するかを制御するには、[ViewChange] を選択します。

4 ワイヤリングのターゲット・コンポーネントの選択

[ワイヤリング] ダイアログ・ボックスの右側にある [ターゲット コンポーネント] のリストから、ソース・コンポーネントからコンテキストを受け取るコンポーネントを 1 つ以上選択します。

[ページ ワイヤリングのサマリ] 領域に、そのページに定義されているすべてのワイヤリングが表示されます。

別のソース・コンポーネントからこのページへのワイヤリングを定義するには、上記の手順を必要に応じて繰り返します。

ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更方法

MyBSM でのコンテンツの整理を容易にするために、ページおよびコンポーネントのカテゴリへの追加またはカテゴリからの削除、新規カテゴリの作成、ユーザ定義のカテゴリの編集または削除ができます。本項では、ページやコンポーネントの整理に役立つ、ページ・ギャラリーおよびコンポーネント・ギャラリー内のカテゴリの操作方法について説明します。

ヒント: カテゴリは相互に共有が可能で、1 つのページやコンポーネントを複数のカテゴリに割り当てることができます。

- ▶ ページに関する詳細については、42 ページ「[ページ ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。
- ▶ コンポーネントに関する詳細については、45 ページ「[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

次の各タスクは省略可能で、任意の順序で実行できます。

- ▶ 34 ページ「新規カテゴリの作成」
- ▶ 35 ページ「ユーザ定義カテゴリの名前変更または削除」
- ▶ 35 ページ「カテゴリへのページまたはコンポーネントの割り当て」
- ▶ 35 ページ「ページまたはコンポーネントのカテゴリの割り当ての変更」

新規カテゴリの作成

MyBSM には、ページやコンポーネントを割り当てるカテゴリが用意されています。新しいカテゴリを追加するには、ページ管理ツールバーの [コンポーネント] または [ページ ギャラリー] ボタンをクリックして、[新規カテゴリ] ボタンをクリックします。新しいカテゴリの名前を入力します。

続いて、既存のページやコンポーネントをカテゴリに割り当てたり、新規の外部コンポーネントをカテゴリに追加できます。

ユーザ定義カテゴリの名前変更または削除

ユーザ定義カテゴリの名前を変更するには、カテゴリを選択して [**カテゴリ名の編集**] ボタンをクリックします。

ユーザ定義カテゴリを削除するには、カテゴリを選択して [**カテゴリを削除**] ボタンをクリックします。

標準設定のカテゴリに対しては、名前の変更や削除はできません。

カテゴリへのページまたはコンポーネントの割り当て

ページまたはコンポーネントをカテゴリに割り当てるには、対象のページまたはコンポーネントを選択し、対応する [**ページのカテゴリ分け**] または [**コンポーネントのカテゴリ分け**] ボタンをクリックします。ページまたはコンポーネントを割り当てる 1 つ以上のカテゴリを選択します。

ページまたはコンポーネントのカテゴリの割り当ての変更

ページまたはコンポーネントのカテゴリの割り当てを変更するには、ページまたはコンポーネントを選択して、対応する [**ページのカテゴリ分け**] または [**コンポーネントのカテゴリ分け**] ボタンをクリックします。必要に応じて、ページまたはコンポーネントに割り当てるカテゴリを変更します。

最大ページ数の変更方法

標準設定では、同時に開けるページ数は 10 ページまでです。複数のページを開いている場合、5 ページまでは（どのページが一番最近アクセスされたかに基づいて）自動的に更新されます。それ以外の開いているページは、選択されたときに更新されます。

これらの制限は、MyBSM およびサービス状況の両方に適用されます。

このセクションでは、これらの制限を変更する方法について説明します。これらの制限値を大きくすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

開けるページの最大数の変更

MyBSM およびサービス状況で開けるページの制限を変更するには、**[管理]** > **[プラットフォーム]** > **[セットアップと保守]** > **[インフラストラクチャ設定]** を選択します。

- ▶ **[アプリケーション]** > **[MyBSM]** を選択します。
- ▶ **[MyBSM - General]** 領域で、**[Maximum number of open pages]** の項目を必要に応じて変更します。

ページの最大数を増やすと、パフォーマンスが低下する可能性があります。

アクティブ・ページの最大数の変更

MyBSM およびサービス状況で自動的に更新されるページ数を変更するには、**[管理]** > **[プラットフォーム]** > **[セットアップと保守]** > **[インフラストラクチャ設定]** を選択します。

- ▶ **[アプリケーション]** > **[MyBSM]** を選択します。
- ▶ **[MyBSM - General]** 領域で、**[Maximum number of active pages]** の項目を必要に応じて変更します。

参照情報

MyBSM のユーザ・インタフェース

本項の内容

- ▶ 37 ページ 「MyBSM ワークスペース」
- ▶ 42 ページ 「[ページ ギャラリー] ダイアログ・ボックス」
- ▶ 45 ページ 「[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス」
- ▶ 51 ページ 「[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス」

MyBSM ワークスペース





MyBSM ワークスペースでは、BSM アプリケーションから標準設定ページを表示し、BSM コンポーネントや外部コンポーネントを含む新しいページを作成できます。各ページはワークスペース内にタブとして表示されます。標準設定のページのリストについては、54 ページ「MyBSM の定義済みページ」を参照してください。標準設定の BSM コンポーネントのリストについては、59 ページ「利用可能なコンポーネント」を参照してください。





アクセス方法	Business Service Management メニュー・バーで [MyBSM] を選択します。
重要な情報	このヘルプ・トピックは、標準設定以外のページを作成して BSM メニュー・バーの [ヘルプ] > [このページのヘルプ] にアクセスすると表示されます。
関連タスク	19 ページ 「MyBSM ワークスペースの作成方法」

ページ管理ツールバー

ワークスペースの右上にあるページ管理ツールバーでは、ページの作成、ページへのコンポーネントの追加、コンポーネント間の相互作用の定義を行うことができます。

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。


UI 要素	説明
<p><ページの選択></p>	<p>このドロップダウン・リストからページを選択して、ワークスペースで開きます。このリストには、ページ・ギャラリーで定義されているページが含まれています。</p> <p>このボックスにページ名を入力し始めると、リストにはその名前が入力した文字で始まるページのみが表示されます。</p>
	<p>更新：ページを更新します。</p>
	<p>保存または名前を付けて保存：現在のページをページ・ギャラリーに保存します。ダイアログ・ボックスでは、ページに名前や説明を付けたり、そのページ用のカテゴリを選択できます。</p> <p>説明は、ページのツールチップとしてページ・ギャラリー内に表示されます。</p>
	<p>ページ ギャラリー：ページ・ギャラリーを開きます。ページ・ギャラリーには、ユーザが保存したページ以外に標準設定のページも表示されます。ページ定義の編集、またはページを開くことが可能です。ユーザ・インタフェースの詳細については、42 ページ「[ページ ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。</p>
	<p>新規ページ：新しいページを作成します。</p> <p>新規ページを開いたら、レイアウトの設定、ページへのコンポーネントの追加、コンポーネント間のワイヤリングの定義を行うことができます。タスクの詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。</p>










UI 要素	説明
	<p>ページ・レイアウトの編集：既存のページのレイアウトを変更します。各レイアウトの左上角にあるレイアウト・ツールを使用して、レイアウト領域を変更します。</p> <p>編集の終了：作業の終了後、このボタンをクリックして編集を終了します。</p>
	<p>コンポーネント：コンポーネント・ギャラリーを開きます。コンポーネント・ギャラリーには、ユーザが追加したコンポーネント以外に標準設定のコンポーネントも含まれます。コンポーネント定義の編集、またはページへのコンポーネントの追加を行うことができます。ユーザ・インタフェースの詳細については、45 ページ「[コンポーネントギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。</p>
	<p>ページ・ワイヤリング：コンポーネント間のワイヤリングを定義します。これにより、コンポーネント間での相互作用が決定されます。ユーザ・インタフェースの詳細については、51 ページ「[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス」を参照してください。</p>
	<p>スライドショーの開始 / スライドショーの終了：開いているページのスライドショーを開始します。ダイアログ・ボックスでは、ページを循環する回数を定義できます。ページは、表示される前に更新されます。</p> <p>スライドショーの実行中にこのボタンをクリックすると、スライドショーが終了します。</p>

レイアウト・ツール

レイアウトが空の場合は、左上の領域にあるレイアウト・ツールを使用してレイアウトを定義できます。レイアウトの中央に表示されるアイコンで、レイアウトの種類（水平、垂直、またはタブ付き）が示されます。

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。





UI 要素	説明
レイアウト・ツール	
	レイアウトの削除 ：ページからレイアウトを削除します。



UI 要素	説明
	<p>コンポーネントの追加：ページ・ギャラリーを開きます。コンポーネントをダブルクリックして、レイアウト領域に配置します。ユーザ・インターフェースの詳細については、45 ページ「[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。</p>
	<p>分割：垂直レイアウトを上下 2 つのレイアウトに分けます。</p>
	<p>分割：水平レイアウトを隣り合った 2 つのレイアウトに分けます。</p>
	<p>水平に切り替え：レイアウトを垂直またはタブ付きから水平に変更します。この領域に配置されるコンポーネントは、隣り合って追加されます。</p>
	<p>垂直に切り替え：レイアウトを水平またはタブ付きから垂直に変更します。この領域に配置されるコンポーネントは、上下に追加されます。</p>
	<p>タブに切り替え：レイアウトを垂直または水平からタブ付きに変更します。この領域に配置されるコンポーネントは、タブとして追加されます。</p>
<p>レイアウト・アイコン</p>	
	<p>< 水平レイアウト >：レイアウト中央にこのアイコンがある場合は、そのレイアウトが水平であることを示します。この領域に配置されるコンポーネントは、隣り合って追加されます。</p>
	<p>< 垂直レイアウト >：レイアウト中央にこのアイコンがある場合は、そのレイアウトが垂直であることを示します。この領域に配置されるコンポーネントは、上下に追加されます。</p>
	<p>< タブ付きレイアウト >：レイアウト中央にこのアイコンがある場合は、そのレイアウトが水平であることを示します。この領域に配置されるコンポーネントは、タブとして追加されます。</p>

コンポーネント・ツールバー

各コンポーネントの右上にあるコンポーネント・ツールバーで、コンポーネントを管理できます。


ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
	<p>次のいずれかを開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ プリファレンス：コンポーネントの名前の変更や、更新頻度をカスタマイズできます。 ▶ ワイヤリング：このコンポーネントが、ページ上のほかのコンポーネントと相互作用する方法をカスタマイズできます。詳細については、51 ページ「[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス」を参照してください。 ▶ 更新：手でコンポーネントを更新します。 ▶ ヘルプ：コンポーネントのヘルプにアクセスします。 <p>注：コンポーネントによっては、これらのオプションのいくつかが利用できない場合があります。</p>
	<p>コンポーネントで内部フィルタがサポートされている場合は、そのコンポーネントのフィルタを定義します。</p>
	<p>コンポーネントを独立したポップアップ・ウィンドウに表示します。</p> <p>注：ここで開かれるポップアップ・ウィンドウでは、ワイヤリングはサポートされません。</p>
	<p>コンポーネントを一時的に折りたたみます。左のボタンは水平コンポーネント用、右のボタンは垂直コンポーネント用です。</p>

UI 要素	説明
	<p>折りたたまれたコンポーネントを元に戻します。左のボタンは水平コンポーネント用、右のボタンは垂直コンポーネント用です。</p> <p>注： 水平レイアウトを折りたたむと、細い縞になります。コンポーネントを元に戻すには、縞をクリックします。</p>
	<p>垂直または水平のレイアウトで、コンポーネントを閉じたり、コンポーネントをページから削除します。</p> <p>タブ付きレイアウトでは、タブを閉じるボタンが各タブに配置されます。メインの [閉じる] ボタンをクリックすると、レイアウトが削除されます。</p>




[ページ ギャラリー] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスを使用すると、ページを選択して MyBSM ワークスペースで開いたり、ページ・ギャラリーを管理できます。ページ・ギャラリー内で、ページはカテゴリに割り当てられます。ページ・カテゴリの追加、編集、削除、カテゴリへのページの割り当て、ページの表示、編集、削除を行うことができます。

アクセス方法	MyBSM で、[ページ ギャラリー]  ボタンをクリックします。
重要な情報	MyBSM ワークスペースでページを開くには、ページ・ギャラリー内のページをダブルクリックします。
関連タスク	19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」





カテゴリ（左側）

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
	<p>新規カテゴリ：新しいカテゴリを作成します。作成後、そのカテゴリにページを割り当てることができます。詳細については、34 ページ「ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更方法」を参照してください。</p>
	<p>カテゴリ名の編集：ユーザ定義のカテゴリを選択してからこのボタンをクリックして、名前を変更します。標準設定のカテゴリ名は変更できません。</p>
	<p>カテゴリを削除：ユーザ定義のカテゴリを選択してからこのボタンをクリックして、カテゴリを削除します。標準設定のカテゴリは削除できません。</p>
<p>カテゴリ</p>	<p>ここには、ページが割り当てられたカテゴリのリストが表示されます。カテゴリ名の後には、次のような内容を表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ カテゴリ名に続く数字は、そのカテゴリに含まれるページ数を示します。 ▶ カテゴリ名に続く鍵のアイコンは、そのカテゴリが標準設定のカテゴリであり、削除や名前の変更が行えないことを示します。 <p>ツールバーを使用すると、カテゴリの管理、またはカテゴリを選択してそこに含まれるページをダイアログ・ボックスの右側に表示できます。</p> <p>カテゴリは共有が可能で、1 つのページを複数のカテゴリに割り当てられます。</p>


ページ（右側）

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
	ページを開く ：ページを選択し、クリックして MyBSM ワークスペースで開きます。
	ページのカテゴリ分け ：ページを選択し、クリックしてそのページをカテゴリに割り当てます。
	ページの複製 ：ページを選択し、クリックしてそのページのコピーを作成します。作成されたページに変更を加え、新しい名前を付けて保存できます。 ダイアログ・ボックスでは、新しいページに名前や説明を付けたり、そのページ用のカテゴリを選択できます。説明は、ページのツールチップとしてページ・ギャラリー内に表示されます。
	ページの削除 ：ページを選択してからクリックすると、選択したページがギャラリーから削除されます。
ページ	ここには、MyBSM で表示できる標準設定のページや、ユーザが保存したカスタム・ページが表示されます。 ページを選択したら、ツールバーを使用してページの定義を編集するか、ページをダブルクリックして MyBSM ワークスペースで開くことができます。
[検索] ボックス	テキスト文字列を入力して、特定のページを検索します。



[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス


ページを開いた後は、このダイアログ・ボックスで、コンポーネントを管理し、それらのコンポーネントを MyBSM ワークスペースで開くことができます。このダイアログ・ボックスでは、コンポーネントのカテゴリの変更、カテゴリへのコンポーネントの割り当て、コンポーネントの表示、編集、削除を行うことができます。

アクセス方法	MyBSM で、[コンポーネント]  ボタンをクリックします。
重要な情報	MyBSM ワークスペースでコンポーネントを開くには、コンポーネントを選択してページにドラッグします。 標準設定で表示されるコンポーネントは、適切なライセンスを所有しているコンポーネントです。詳細については、59 ページ「利用可能なコンポーネント」を参照してください。
関連タスク	19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」

カテゴリ（左側）




ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。


UI 要素	説明
	新規カテゴリ ：新しいカテゴリを作成します。作成後、そのカテゴリにコンポーネントを割り当てることができます。詳細については、34 ページ「ページおよびコンポーネントのカテゴリの変更方法」を参照してください。
	カテゴリ名の編集 ：ユーザ定義のカテゴリを選択してからのボタンをクリックして、名前を変更します。標準設定のカテゴリ名は変更できません。

UI 要素	説明
	<p>カテゴリを削除: ユーザ定義のカテゴリを選択してからこのボタンをクリックして、カテゴリを削除します。標準設定のカテゴリは削除できません。</p>
<p>カテゴリ</p>	<p>ここには、コンポーネントが割り当てられたカテゴリのリストが表示されます。カテゴリ名の後には、次のような内容を表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ カテゴリ名に続く数字は、そのカテゴリに含まれるコンポーネント数を示します。 ▶ カテゴリ名に続く鍵のアイコンは、そのカテゴリが標準設定のカテゴリであり、削除や名前の変更が行えないことを示します。 <p>ツールバーを使用すると、カテゴリの管理、またはカテゴリを選択してそこに割り当てられたページをダイアログ・ボックスの右側に表示できます。</p> <p>カテゴリは共有が可能で、1つのコンポーネントを複数のカテゴリに割り当てることができます。</p>

コンポーネント (右側)

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
	<p>外部コンポーネントの追加: URL に基づいた新しいコンポーネントを追加します。</p> <p>これにより、新しいコンポーネントを定義するダイアログ・ボックスが表示されます。詳細については、47 ページ「[新規コンポーネント] / [コンポーネントの編集] ダイアログ・ボックス」を参照してください。</p> <p>コンポーネントとして任意の URL を追加できます。</p>
	<p>コンポーネントのプロパティ編集: 外部コンポーネントを選択し、このボタンをクリックしてコンポーネントの定義を編集します。詳細については、47 ページ「[新規コンポーネント] / [コンポーネントの編集] ダイアログ・ボックス」を参照してください。</p>
	<p>コンポーネントのカテゴリ分け: コンポーネントを選択し、このボタンをクリックしてそのコンポーネントをカテゴリに割り当てます。</p>

UI 要素	説明
	コンポーネントの削除 : コンポーネントを選択し、このボタンをクリックして選択したコンポーネントをギャラリーから削除します。
コンポーネント	ここには、MyBSM で表示できる標準設定のコンポーネントや、ユーザが保存した外部コンポーネントが表示されます。コンポーネントの選択後、ツールバーを使用して、コンポーネントの定義の編集、またはページへのコンポーネントのドラッグを行うことができます。
[検索] ボックス	テキスト文字列を入力して、特定のコンポーネントを検索します。

[新規コンポーネント] / [コンポーネントの編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスを使用すると、外部 URL に基づいてコンポーネントを定義できます。ほかのコンポーネントから送られた、CI 属性などのコンテキストの属性を使用して URL のパターンを定義するように、ワイヤリングをセットアップできます。

アクセス方法	コンポーネント・ギャラリーにアクセスして [外部コンポーネントの追加] をクリックするか、外部コンポーネントを選択して [コンポーネントのプロパティ編集] をクリックします。
重要な情報	外部コンポーネントの URL は、https://, http://, ftp:// のいずれかの文字列で開始する必要があります。 これ以外の文字列で始まる URL を保存すると、BSM セッションがハングアップします。
関連タスク	27 ページ「外部コンポーネントの作成方法」
関連情報	30 ページ「動的 URL を使用したコンポーネントの作成方法 - 使用例のシナリオ」

< 上部の表示枠 >

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
	すべてのコンテキストについて URL を再ロード URL の静的部分を編集した場合は、このボタンをクリックして下の URL パターンを更新します。
名前	コンポーネントに割り当てる名前を入力します。
URL	コンポーネントの URL を入力します。パラメータを使用して動的 URL を作成している場合は、URL の静的部分をここに入力します。 たとえば、文字列 <code>hp</code> を <code>Google.com</code> で検索する URL には、次の形式を使用します。 <code>http://www.google.com/search?q=hp</code> この URL の静的部分は、疑問符の前の次の部分です。 <code>http://www.google.com/search</code>

[コンポーネントのカテゴリ分け] 領域



(任意) コンポーネントを割り当てる 1 つ以上のカテゴリを選択します。

[ワイヤリング コンテキスト] 領域

この領域では、URL パターンの定義に使用する属性を含むコンテキストを 1 つ以上選択できます。

- ▶ [CIChange] を選択すると、URL の定義に CI 属性を使用できます。
- ▶ [EventChange] を選択すると、URL の定義にイベント属性を使用できます。
- ▶ [ViewChange] を選択すると、ビュー名を属性として使用できます。



ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
	<p>コンテキストの追加 : URL パターンの定義に使用できる属性を含むコンテキストを追加します。</p> <p>ダイアログ・ボックスで、追加するコンテキストを選択できます。</p>
	<p>削除 : コンテキストを選択し、このボタンをクリックしてリストから削除します。</p>
<コンテキスト>	各行は、URL パターンの作成に使用できる属性を含むコンテキストを表します。

[URL パラメータと値] 領域

この領域では、ワイヤリング・コンテキストの属性を使用して、URL パラメータと値を追加して URL パターンを構築できます。

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。


UI 要素	説明
	<p>新規パラメータ : URL パラメータを追加します。</p> <p>表示されるダイアログ・ボックスで、URL の次のいずれかの要素を選択します。パス、クエリ文字列、URL のフラグメント。そしてパラメータ名を入力します。</p> <p>次のパターンを使用します。http(s)://domain/ <path> ? <query_string> # <fragment>.</p> <p>たとえば、http://www.google.com/search?q=hp に基づいて動的 URL を作成するには、q という名前の URL パラメータを追加します。</p>
	<p>削除 : URL パラメータを選択し、このボタンをクリックしてリストから削除します。</p>

UI 要素	説明
<p>属性</p>	<p>ここには、URL パターンの構築に使用できる属性のリストが含まれます。このリストは、[ワイヤリング コンテキスト] 領域で選択したコンテキストに依存します。</p> <p>たとえば、[ワイヤリング コンテキスト]領域で[CIChange]を選択した場合は、URL パターンの構築に属性<< cild >>を利用できます。</p> <p>属性を URL パラメータの値として使用するには、属性をこの領域からパラメータの [値] 領域にドラッグします。</p>
<p>URL パラメータと値</p>	<p>各行は、URL パターンの作成に使用される URL パラメータ名とその値を表します。</p> <p>パラメータ名を定義してから、[属性] 領域からそのパラメータの [値] 領域に属性をドラッグします。</p> <p>パラメータ名や値を編集するには、パラメータまたは値自体をクリックして、その内容を編集します。</p>
<p>URL パラメータ</p>	<p>ここには、URL フィールドに入力した静的 URL を使用して構築した URL パターンや、[URL パラメータ] 領域で定義した URL パラメータが表示されます。</p>

[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスを使用すると、コンポーネント間の相互作用を決定する、ページ上のコンポーネント間のワイヤリングを定義できます。ページ上にコンポーネントを配置したあと、このダイアログを使用して、コンテキストをどのコンポーネント（ソース）から、どのコンポーネント（ターゲット）に送るかを定義できます。ワイヤリングのセットアップが完了したら、ページを保存します。

たとえば、[CIChange] ワイヤリング・コンテキストをトップ・ビュー（ターゲット・コンポーネント）に送信するソース・コンポーネントとして、ビュー・セレクトアが定義されているとします。この場合にビュー・セレクトアで CI を選択すると、トップ・ビューでもこの CI に焦点が当てられます。

アクセス方法	MyBSM で、[ワイヤリング]  ボタンをクリックします。
関連タスク	32 ページ「コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ方法」

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
コンテキスト	<p>ソース・コンポーネントを選択したあと、このソースからターゲット・コンポーネントに送信できるコンテキストのリストが表示されます。</p> <p>1 つ以上のターゲットに送信するコンテキストを選択して、ターゲット・コンポーネントを選択します。</p>
ソース コンポーネント	<p>コンテキストをほかのコンポーネントに送信する可能性のある、ページ上のすべてのコンポーネントが表示されます。</p> <p>ソース・コンポーネントを選択して、コンテキストとターゲット・コンポーネントを選択します。</p> <p>注: ほかのコンポーネントに情報を送信する可能性のあるコンポーネントがページ上にない場合は、このリストは空になります。この問題を解決するには、トップ・ビューやビュー・セレクトアなどの、CI またはビューを選択できるコンポーネントをページに追加します。</p>

UI 要素	説明
ページワイヤリングのサマリ	ページに定義されている、ワイヤリングのサマリが表示されます。各行には、ソース、ソースが送信するコンテキスト、このコンテキストをソースから受信するターゲット・コンポーネントが表示されます。
ターゲットコンポーネント	ソース・コンポーネントとコンテキストを選択したあと、指定されたソースからこのコンテキストを受信する可能性がある、ページ上のすべてのコンポーネントが表示されます。 ソース・コンポーネントからコンテキストを受信するターゲット・コンポーネントを 1 つ以上選択します。

MyBSM のトラブルシューティング - 一般的なトピック

本項では、MyBSM の一般的なトラブルシューティングについて説明します。

MyBSM ページおよびコンポーネントが欠落している

実行中の BSM デプロイメントでデータベースを変更した場合、MyBSM にページおよびコンポーネントが含まれなくなります。ページおよびコンポーネントを復元するには、次の手順を実行します。

- 1 ディレクトリ <ゲートウェイ・サーバのルート・ディレクトリ>
¥conf¥uimashup¥import を開きます。これには、¥loaded と ¥toload の 2 つのディレクトリが含まれています。
- 2 ¥loaded ディレクトリの内容を ¥toload ディレクトリにコピーします。
- 3 BSM を再起動します。

2

MyBSM の定義済みページおよびコンポーネント

本章の内容

概念

- ▶ MyBSM の定義済みページ (54 ページ)
- ▶ MyBSM レガシページ (57 ページ)

参照情報

- ▶ 利用可能なコンポーネント (59 ページ)
- ▶ 定義済みの MyBSM ページ - ユーザ・インタフェース (81 ページ)

概念

MyBSM の 定義済みページ

MyBSM には多数の事前に定義されたページがあり、すぐに使用できます。これらのページは、ツールバーの [ページの選択] ドロップダウン・リストを使用するか、ページ・ギャラリーから開けます。

また、選択したコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成することもできます。MyBSM のページおよびコンポーネントを使用した作業方法の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

一部のページは、ビュー・セレクタを組み込んだ単一のコンポーネントで構成されます。それ以外のページは複数のコンポーネントで構成され、1 つのコンポーネントがほかのコンポーネントのビューや CI の選択に使用されます。各コンポーネントの詳細については、59 ページ「利用可能なコンポーネント」を参照してください。

次は、MyBSM 内の標準設定の (定義済みの) ページです。これらのページの詳細については、81 ページ「定義済みの MyBSM ページ - ユーザ・インタフェース」を参照してください。

注 : 18 ページ「MyBSM でのユーザ権限」で説明されているように、アクセスできるのは、権限が設定されたページのみです。

ページ	説明
Business Process Insight	
Process Diagram	BPI Modeler を使用してビジネス・プロセスを作成したときに、そのコンポーネントと構造が表示されます。表示されるデータは、BPI サーバから BSM に送信されるデータ・サンプルに基づきます。
Diagnostics	
Diagnostics Dashboard	HP Diagnostics をインストール済みの場合、[Diagnostics Dashboard] ページで Diagnostics CI を含むビューの選択、CI の選択、別の Diagnostics Dashboard の表示ができます。Diagnostics によって表示されるデータは、選択した CI のタイプに基づきます。
End User Management	
EUM Application Status	アプリケーションのオンライン・ステータスが、アプリケーション、トランザクション、および関連する場所の経過時間ごとのステータスとともに、リアル・ユーザと合成ユーザの両方の視点から表示されます。
[EUM Application Support 360 by BPM] ページ	オンラインのアプリケーション・ステータスが、トランザクション、関連する場所の経過時間ごとのステータスとともに、合成ユーザの視点から表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「[BPM による EUM アプリケーション サポート 360] ページを使用した問題のトラブルシューティング方法」を参照してください。
[EUM Application Support 360 by RUM] ページ	オンラインのアプリケーション・ステータスが、アプリケーション層、トランザクション、関連する場所のステータスとともに、リアル・ユーザの視点から表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「[RUM による EUM アプリケーション サポート 360] ページを使用した問題のトラブルシューティング方法」を参照してください。
EUM High-Level Status	複数のアプリケーションや場所、およびそれらのエンド・ユーザ・ステータスの高レベルのビューが、リアル・ユーザと合成ユーザの両方の視点から表示されます。
Operations Management	
Event Perspective	監視中の動作環境で発生するイベントのサマリと、選択したイベントに関する詳細情報が表示されます。

ページ	説明
Health Perspective	<p>イベントのコンテキスト内の関連 CI の状況が表示されます。イベント・ブラウザで選択したイベントにより、[Health Top View] や [状況インジケータ] の表示枠の表示内容が決まります。</p> <p>このページは、オブジェクトの状況ステータスを理解するのに役立つうえ、どのビジネス・ルールや KPI が使用されているか、および選択したオブジェクトの状況ステータスが関連 CI の状況にどのように影響するかを示します。</p>
Performance Perspective	<p>テンプレートからグラフを作成し、選択した CI に基づいて設定されるメトリック・リストから必要なメトリックスを選択して、一時的なグラフを作成できます。</p>
Service Health	
360° View	<p>選択した CI に関する包括的なデータが、1 か所に集めて表示されます。360° View には、選択したビューの CI に関する KPI データを提供する階層コンポーネントが含まれています。詳細リンクが表示される階層コンポーネント内の CI を選択した場合、詳細リンクをクリックすると次のコンポーネントにアクセスできます。ビジネス影響度、状況インジケータ、警告、変更およびインシデント。</p>
Custom Image	<p>カスタム・イメージ上のビューに、各 CI を表すアイコンが表示されます。</p>
Geographic Map	<p>地理マップ内の地理的な場所とステータス・インジケータとの関連付けが表示されます。</p>
Neighborhood Map	<p>選択した CI の親 CI と子 CI が、インタラクティブな階層構造のグラフィックに表示されます。</p>
Topology Map	<p>インタラクティブな階層構造のグラフィックに、ビュー内の CI が表示されます。トポロジ・マップでは CI 間のリンクが表示され、CI を層やグループに分けて表示できます。</p>
Top View	<p>階層構造のトップダウン・グラフィックに、ビュー内の CI が表示されます。</p>
Service Level Management	
Service Level Management	<p>SLA のステータスのスナップショットが提供されます。SLA ごとに、SLM のサマリ・レポートや、現在および過去のステータスのスナップショットを参照できます。</p>

MyBSM レガシページ

MyBSM レガシ・ページでは、以前のバージョンの BSM を使用してページを作成した MyBSM のユーザが、これらのページを BSM 9.10 で表示できます。

以前のバージョンの BSM からアップグレードしてもアップグレード前の MyBSM でページを作成していなかった場合、MyBSM レガシ・ページでは BSM 9.10 で役立つ機能は提供されません。以前のバージョンの BSM からアップグレードしていない場合、このページは表示されません。

注：BSM 9.10 にアップグレードしていない場合、[インフラストラクチャ設定] ページと [ユーザおよび権限] ページで MyBSM レガシ・エントリは表示されますが、機能はなにも提供されません。

MyBSM レガシ・ページは、将来の BSM リリースでは使用できなくなります。

MyBSM レガシ・ページを使用して、アップグレード前の MyBSM ポートレットを読み取り専用モードで表示できます。MyBSM レガシ・ページを操作する際には、次の制限事項に注意します。

- ▶ ポートレットを追加したりこのページからポートレットを削除したりすることはできません。
- ▶ ポートレット・フィルタは変更できません。特定のビューまたは CI にフィルタを設定していて、このビューまたは CI が BSM 9.10 に存在しない場合、そのポートレットでは情報がなにも表示されません。

このセクションには次のトピックも含まれています。

- ▶ 58 ページ「変更または削除したポートレット」
- ▶ 58 ページ「特定のコンポーネントに関する情報の検索」
- ▶ 58 ページ「レガシ・ページ・コンポーネントの更新頻度の設定」

変更または削除したポートレット

- ▶ RSS, リッチ・テキスト, WSRP, および HTML のポートレットは, BSM 9.x の MyBSM ページ内ではコンポーネントとしてサポートされません。これらのポートレットのいずれかを設定している場合, MyBSM レガシ・ページ内に表示されます。
- ▶ CMDDB ポートレットは BSM 9.x では使用できません (UCMDB モジュールおよびページは表示されますが, データは含まれません)。
- ▶ サービス状況 スコアカードおよびステータス・スナップショットのポートレットは BSM 9.x では使用できません。
- ▶ ダッシュボード・ポートレットの, 選択したサブツリーのみを表示するオプションと特定の KPI のみを表示するオプション ([プリファレンス] > [CI ステータスに含める]) は, 9.x では使用できません。これらのオプションを 8.x で指定していた場合, 9.x コンポーネントではすべての CI およびすべての KPI が表示されます。
- ▶ フィルタ・ポートレットは, サービス状況 の階層コンポーネントの一部として含まれるようになりました。[モニタのみ] または [モニタを除くすべて] のフィルタを定義した場合, BSM 9.x ではモニタ CI が削除されているため, このフィルタは効力がありません。フィルタ設定はビューのすべての CI に適用されるようになります。たとえば, ステータスを [致命的] としてフィルタを「モニタのみ」に設定した場合, 階層コンポーネントではすべての CI がこのステータスで表示されます。

特定のコンポーネントに関する情報の検索

BSM 9.x では, MyBSM ポートレットがコンポーネントに置き換えられています。MyBSM レガシ・ページの特定のポートレットについては, 59 ページ「利用可能なコンポーネント」を参照するか, アップグレード前の Business Availability Center の説明書を参照してください。

レガシ・ページ・コンポーネントの更新頻度の設定

標準設定では, レガシ・ページ・コンポーネントは 30 秒ごとに更新されます。この設定は, 次のインフラストラクチャ設定を使用して, トップ・ビュー以外のすべてのサービス状況コンポーネントで変更できます。[サービス状況アプリケーション - レガシ MyBSM - 更新設定] > [UI のリフレッシュ頻度]。

トップ・ビューの更新頻度は, [サービス状況アプリケーション - トップ ビューのプロパティ] セクションで設定します。

参照情報

利用可能なコンポーネント

さまざまなアプリケーションのコンポーネントを、MyBSM ページに追加できます。次のセクションでは、利用可能な BSM コンポーネントについて説明します。ユーザ・インタフェースの詳細については、45 ページ「[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス」を参照してください。

注: アプリケーションからコンポーネントにアクセスするには、そのアプリケーションのライセンスが必要です。

次のアプリケーションからコンポーネントを追加できます。

- ▶ 60 ページ「Business Process Insight」
- ▶ 61 ページ「エンド・ユーザ管理」
- ▶ 60 ページ「HP Diagnostics」
- ▶ 71 ページ「NNMi」
- ▶ 72 ページ「オペレーション管理」
- ▶ 73 ページ「レポート・ビルダ」
- ▶ 73 ページ「サービス状況」
- ▶ 76 ページ「サービス・レベル管理」
- ▶ 78 ページ「SOA」
- ▶ 80 ページ「システム可用性管理」
- ▶ 80 ページ「トランザクション管理」

Business Process Insight

コンポーネント名	説明
Business Process Diagram	<p>ビジネス・プロセスの状況の全体的なステータスが表示されます。詳細については、『Using Business Process Insight』の「BPI Components in MyBSM」を参照してください。</p> <p>注：単一の MyBSM ページで表示するために選択できる BPI プロセスは、1 つだけです。ほかのプロセスを表示するには、別のページを開きます。</p>
Business Process Instance Violations	<p>ビジネス・プロセス・インスタンスの違反に関する情報が表示されます。詳細については、『Using Business Process Insight』の「BPI Components in MyBSM」を参照してください。</p>
Business Process Overtime レポート	<p>選択したビジネス・プロセス CI の、特定の時間間隔のボリューム (スループット)、バックログ (アクティブ・プロセス値)、および状況に関する情報が表示されます。詳細については、『Using Business Process Insight』(英語版) の「BPI Components in MyBSM」を参照してください。</p>
Business Process Summary レポート	<p>選択したビジネス・プロセスのサマリ・データが表示されます。詳細については、『Using Business Process Insight』の「BPI Components in MyBSM」を参照してください。</p>

HP Diagnostics

コンポーネント名	説明
Diagnostics Dashboard	<p>HP Diagnostics をインストール済みの場合、Diagnostics Dashboard (ビュー・セレクタを含む) で Diagnostics CI を含むビューの選択、CI の選択、別の Diagnostics Dashboard の表示ができます。Diagnostics によって表示されるデータは、選択した CI のタイプに基づきます。詳細については、『HP Diagnostics Users Guide』の「MyBSM Diagnostics Dashboard Page」を参照してください。</p>

エンド・ユーザ管理

コンポーネント名	説明
Application Health Alerts Count Over Time	選択したアプリケーションについて、指定した時間範囲内に発生した警告数が、時間と重大度別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。
Application Health Alerts Summary	選択したアプリケーションについて、指定した時間範囲内に発生した警告数のサマリが、重大度別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。
Application Health Availability	利用可能なトランザクション・ヒット、アクション・ヒット、または接続の、経過時間ごとの総数とパーセンテージが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。
Application Health Business Summary	トランザクションの経過時間ごとの全体的なステータスが、可用性、パフォーマンス、場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。
Application Health Distribution	選択したアプリケーションのサーバ、エンド・ユーザ・グループ、および場所のパフォーマンスと可用性が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。
Application Health Performance	トランザクション・ヒット、アクション・ヒット、または要求の総数と、利用可能なヒットまたは要求のパーセンテージが、ステータスおよび経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。
Application Health Sessions	選択した期間中のアプリケーションの総セッション数と、その中で可用性またはパフォーマンスに問題のあるセッションのパーセンテージが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
Application Summary	選択したアプリケーションの経過時間ごとの全体的なステータスが、可用性、パフォーマンス、場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション・サマリ・レポート」を参照してください。
BPM Error Summary Distribution by <Category/Type>	エラーのサマリが、場所のようなカテゴリまたは BPM カスタム属性別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「BPM エラー・サマリ・レポート」を参照してください。
BPM Error Summary Distribution by Transaction	エラーのサマリが、トランザクション別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「BPM エラー・サマリ・レポート」を参照してください。
BPM Performance Matrix	指定した期間中のトランザクションの応答時間の分布が、トランザクションまたは場所別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとの BPM パフォーマンス・レポート」を参照してください。
BPM Performance Status	選択したアプリケーションの設定済みトランザクションのパフォーマンス・ステータスをリストした、アプリケーション・パフォーマンス・ステータスの高レベルな概要が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「BPM パフォーマンス・ステータス・レポート」を参照してください。
BPM Triage Raw Data Error Log	選択した Business Process Monitor トランザクションで、指定した期間中に発生したエラーの詳細ログが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「エラー・ログ」を参照してください。
BPM Triage Raw Data Location Response Time	合成ユーザのトランザクションの応答時間が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「選別レポート」を参照してください。
BPM Triage Transaction Breakdown	リアル・ユーザのトランザクションへのカテゴリ別に分類された応答時間とトランザクション・ヒットの数が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「選別レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
Location Summary	選択したアプリケーションのパフォーマンスと可用性のステータスが、エンド・ユーザの場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」を参照してください。
Location Summary - Geographic Map	選択した場所にある選択したアプリケーションの高レベルなステータスを示す、地理マップが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」を参照してください。
Location Summary Transaction Breaches	選択したアプリケーションに含まれる、合計時間のしきい値を超えたトランザクションの詳細が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」を参照してください。
Location Summary Transaction Failures	選択したアプリケーションに含まれる、失敗したトランザクションの詳細が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」を参照してください。
Metrics Over Time	選択したアプリケーションの 1 つまたは 2 つのメトリックスを選択して、一定期間の動作を参照できます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのメトリックス・レポート」を参照してください。
パフォーマンス・アナリシス	選択したアプリケーションのトランザクション時間をカテゴリ別に分類する、色分けされたバーが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「パフォーマンス・アナリシス・レポート」を参照してください。
RUM Action Over Time Availability	選択した期間中のアクション・ヒットの総数と、利用可能なアクション・ヒットのパーセンテージが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアクション・レポート」を参照してください。
RUM Action Over Time Events	選択した期間中にアクションで発生したイベントの総数が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアクション・レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
RUM Action Over Time Performance	選択した期間中のアクション・ヒットの総数、利用可能なアクション・ヒットのパーセンテージ、および利用可能なアクション・ヒットのうち合計時間がアクションの合計時間のしきい値よりも少ないまたは等しいものの数が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアクション・レポート」を参照してください。
RUM Action Over Time Response Time Breakdown	選択した期間中のアクション・ヒットの総数と応答時間が、カテゴリ別に分類して表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアクション・レポート」を参照してください。
RUM Action Summary Availability	特定のアクションの可用性データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アクション・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM アクション・サマリ・ハイライト	特定のアクションの主要な可用性およびパフォーマンス・データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アクション・サマリ・レポート」にある「ハイライト・タブ」を参照してください。
RUM Action Summary Performance	特定のアクションのパフォーマンス・データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アクション・サマリ・レポート」を参照してください。
アクションごとの RUM アプリケーション・インフラストラクチャ	インフラストラクチャで実行中ソフトウェア別の選択したアクションのデータを表示します。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アクションごとのアプリケーション・インフラストラクチャ・レポート」を参照してください。
RUM Application Infrastructure Over Time Application Traffic	選択したサーバへのトラフィックの要求の詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアプリケーション・インフラストラクチャ・レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
RUM Application Infrastructure Over Time Server Availability	サーバの可用性の詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアプリケーション・インフラストラクチャ・レポート」を参照してください。
RUM Application Infrastructure Over Time Server Requests	選択したサーバへのサーバ要求の詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアプリケーション・インフラストラクチャ・レポート」を参照してください。
RUM Application Infrastructure Over Time TCP Server Errors	選択したサーバに関する、サーバ・エラーのあるパケットの詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアプリケーション・インフラストラクチャ・レポート」を参照してください。
RUM Application Infrastructure Over Time Traffic Throughput	選択したサーバ上でのアプリケーションの合計トラフィック・スループットの詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのアプリケーション・インフラストラクチャ・レポート」を参照してください。
RUM アプリケーション・インフラストラクチャ・サマリ・アプリケーション	サーバおよび実行中のソフトウェア要素で実行される、選択したアプリケーションのアクションに関するパフォーマンスと可用性のデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アプリケーション・インフラストラクチャ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Application Infrastructure Summary Highlights	選択したアプリケーションによって使用されるサーバおよび実行中のソフトウェアに関する一般的な情報が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アプリケーション・インフラストラクチャ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Application Infrastructure Summary Network	サーバおよび実行中のソフトウェアの、TCP パフォーマンスと可用性のデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アプリケーション・インフラストラクチャ・サマリ・レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
RUM Application Infrastructure Summary Request-Response	サーバおよび実行中のソフトウェア要素の要求と応答に関するパフォーマンス・データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アプリケーション・インフラストラクチャ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Application Summary	特定のアクションに関するデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アクション・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM End User Group Summary Application	設定したエンド・ユーザのアクションのパフォーマンスと可用性のデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM エンド・ユーザ・グループ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM End User Group Summary Highlights	設定したエンド・ユーザの主要な情報が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM エンド・ユーザ・グループ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM End User Group Summary Network	選択したアプリケーションの設定済みエンド・ユーザのネットワーク データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM エンド・ユーザ・グループ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM End User Group Summary Request-Response	選択したアプリケーションの設定済みエンド・ユーザのリクエストとレスポンスのデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM エンド・ユーザ・グループ・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM End Users by Transaction Availability	選択したトランザクションを実行した各エンド・ユーザ・グループの可用性データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。トランザクションごとのエンド・ユーザ・レポートにアクセスするには、トランザクション・サマリ・レポートを開き、トランザクションを選択して、[トランザクションごとのエンド ユーザ] ボタンをクリックします。

コンポーネント名	説明
RUM End Users By Transaction Highlights	<p>選択したトランザクションを実行した各エンド・ユーザ・グループの一般的なデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。トランザクションごとのエンド・ユーザ・レポートにアクセスするには、トランザクション・サマリ・レポートを開き、トランザクションを選択して、[トランザクションごとのエンド ユーザ] ボタンをクリックします。</p>
RUM End Users by Transaction Performance	<p>選択したトランザクションを実行した各エンド・ユーザ・グループのパフォーマンス・データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。トランザクションごとのエンド・ユーザ・レポートにアクセスするには、トランザクション・サマリ・レポートを開き、トランザクションを選択して、[トランザクションごとのエンド ユーザ] ボタンをクリックします。</p>
RUM Event Analysis by Actions	<p>選択したイベント・タイプのデータが、アクション別に分類して表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「イベント・アナリシス・レポート」を参照してください。</p>
RUM Event Analysis by Application Infrastructure	<p>選択したイベント・タイプのデータが、サーバ別に分類して表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「イベント・アナリシス・レポート」を参照してください。</p>
RUM Event Analysis by End User Groups	<p>選択したイベント・タイプのデータが、エンド・ユーザ・グループ別に分類して表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「イベント・アナリシス・レポート」を参照してください。</p>
RUM Event Analysis Over Time	<p>指定した時間範囲内に発生したイベントの数が、時間と名前別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「イベント・アナリシス・レポート」を参照してください。</p>

コンポーネント名	説明
RUM Event Count by Classification	指定した時間範囲内に発生したイベントの数が、時間とカテゴリ別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM イベント・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Event Summary Application Errors	選択したアプリケーションについて、指定した時間範囲内に発生したイベントの数が、時間と名前別の編成で表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM イベント・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Event Summary Informational Events	選択したアプリケーションの情報イベントのサマリが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM イベント・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Event Summary Performance Events	選択したアプリケーションのパフォーマンス・イベントのサマリが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM イベント・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM セッション・アナライザ	アプリケーションの詳細なセッション・データを表示します。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM セッション・アナライザ・レポート」を参照してください。
RUM Session Summary	セッション・イベント統計が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM セッションのサマリ・レポート」を参照してください。
RUM 層サマリ・アプリケーション	選択したアプリケーションの階層のアクションの、パフォーマンスと可用性のデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM 層サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Tier Summary Highlights	選択したアプリケーションの設定済みの階層の主要な情報が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM 層サマリ・レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
RUM Tier Summary Network	選択したアプリケーションの階層ネットワークのデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM 層サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Tier Summary Request-Response	選択したアプリケーションの、階層の要求 - 応答データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM 層サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Transaction Over Time Availability	選択したトランザクションの可用性の詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
RUM Transaction Over Time Breakdown	選択したトランザクションのブレークダウンの詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
RUM Transaction Over Time Hits Availability	選択したトランザクションの可用性の詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
RUM Transaction Over Time Performance	選択したトランザクションのパフォーマンスの詳細が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
RUM Transaction Summary Availability	特定のトランザクションの可用性データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Transaction Summary Highlights	特定のトランザクションの一般的なデータが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
RUM Transaction Summary Performance	特定のトランザクションのパフォーマンス・データが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。
RUM Triage Raw Data Location Response Time	リアル・ユーザのトランザクションの応答時間が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「選別レポート」を参照してください。
Status Snapshot Least Available Applications	選択したアプリケーションのうち、過去 1 日で最も可用性の低いアプリケーションが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「ステータス・スナップショット」を参照してください。
Status Snapshot Least Available Locations	選択したアプリケーションのうち、過去 1 日で最も可用性の低い場所が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「ステータス・スナップショット」を参照してください。
Status Snapshot Least Available Transactions	選択したアプリケーションのうち、過去 1 日で最も可用性の低いトランザクションが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「ステータス・スナップショット」を参照してください。
Status Snapshot Slowest Applications	選択したアプリケーションのうち、過去 1 日で最も遅いアプリケーションが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「ステータス・スナップショット」を参照してください。
Triage Transaction by Location	トランザクションのパフォーマンスの詳細が、場所ごとのグループに分かれて表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「選別レポート」を参照してください。

NNMi

NNMi コンポーネントにアクセスするには、適切なライセンスをインストールする必要があります。NNMi コンポーネントは、NNM サーバへの接続を設定している場合のみ表示されます（[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定] > [ファウンデーション] > [他のアプリケーションとの統合] > [HP NNM]）。

NNMi と BSM コンポーネント間のワイヤリングは、NNMi-BSM 統合が実装された場合のみ有効になります。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Integrate Network Node Manager i (NNMi) with BSM」を参照してください。

コンポーネント名	説明
Layer 2 Neighbor View	選択したデバイスと、そのデバイスから指定したホップ数以内にあるコネクタ・デバイスのマップ・ビューが表示されます。このビューは、デバイス間のスイッチの接続を理解するのに役立ちます。
Layer 3 Neighbor View	選択したデバイスと、そのデバイスから指定したホップ数以内にあるコネクタ・デバイスのマップ・ビューが表示されます。このビューは、デバイス間のルータの接続を理解するために役立ちます。
MPLS VPN Inventory	企業顧客向けのビューで、顧客の各サイトが MPLS ネットワークが提供するサービスを介してどのように接続されるかを示します。
Open Key Incidents	ネットワーク・オペレータにとって最も重要なインシデントが表示されます。これらのインシデントには、即時の対応が必要になることがよくあります。
Overall Network Health (Node Group Overview)	親ノード・グループを持たない、すべての（最上位レベルの）ノード・グループを含むマップが表示されます。
Overall Network Health - Routers	ネットワーク内のルータ接続のノード・グループ・マップが表示されます。

コンポーネント名	説明
Overall Network Health - Switches	ネットワーク内のスイッチ接続のノード・グループ・マップが表示されます。
Router Redundancy Groups Inventory	NNMi 管理者によって作成された、利用可能なルータ冗長性グループが表示されます。各ルータ冗長性グループは 2 つ以上のルータのセットで、情報パッケージが目的の宛先に確実に届くように、1 つ以上の仮想 IP アドレスを使用します。

オペレーション管理

コンポーネント名	説明
Action Panel	選択したイベント、関連 CI、またはその CI をホストするノードに適用できる、アクション (ツール、ランブック、カスタム・アクション、およびパフォーマンス・グラフ) のリストが表示されます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「アクション・ペイン」を参照してください。
Event Browser	監視中の動作環境で発生するすべてのイベントのサマリが表示されます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「イベント管理」を参照してください。
詳細付きのイベント・ブラウザ	監視中の動作環境で発生したすべてのイベントのサマリが表示されます。いっしょに表示される詳細ペインには、選択したイベントの詳細情報が表示されます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「イベント管理」を参照してください。
イベント詳細	選択したイベントの詳細情報は、イベント・ブラウザの下にある専用ペインに、またはポップアップ・ウィンドウとして表示できます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「イベント管理」を参照してください。
Health Top View	[イベント ブラウザ] 表示枠で選択したイベントの影響を受ける構成アイテムの、トポロジのビューが表示されます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「ヘルス・トップ・ビュー」を参照してください。

コンポーネント名	説明
パフォーマンス・グラフ	デフォルトのテンプレートからグラフを描画できるパフォーマンス・ペインを表示できます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「パフォーマンス・グラフ」を参照してください。
詳細付きのパフォーマンス・グラフ	事前定義のグラフを描画できる詳細付きパフォーマンス・ペインを表示し、選択した CI に必要なメトリックを選択して、すぐにグラフを描画できます。詳細については、『オペレーション管理の使用』の「パフォーマンス・グラフ」を参照してください。

レポート・ビルダ

コンポーネント名	説明
Open Query Builder	汎用レポート・エンジン API のクエリに応答して、データベースから取得されたデータのテーブルが表示されます。詳細については、『Reports』の「Build a Custom Query Using Custom Query Builder」を参照してください。
Service Report	複数のデータ・ソースから構築された、個人設定のテーブル・レポートが表示されます。詳細については、『Reports』の「Service Report」を参照してください。

サービス状況

コンポーネント名	説明
Alerts	選択した CI によってトリガされた、CI のステータス警告が表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「警告コンポーネントの概要」を参照してください。
Business Impact	選択した CI によって影響を受ける、ビジネス CI および SLA が表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「ビジネス影響度コンポーネントの概要」を参照してください。

コンポーネント名	説明
Changes and Incidents	<p>選択した CI によって開かれるインシデントと、その CI を対象として計画された変更と実際の変更が表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「変更およびインシデント・コンポーネントの概要」を参照してください。</p>
CI ステータス警告レポート	<p>指定した期間に発生した CI ステータス警告のリストが表示されます。CI ステータスの警告メカニズムにより、警告メッセージを事前定義した受信者に送信し、その警告に対して定義されたアクションを実行することができます。特定の KPI または CI に関する警告を、事前定義したステータス変更に基づいて送信できます。詳細については、『Service Health の使用』の CI を参照してください。</p>
Custom Image	<p>ビューが示す実際の状況を表すユーザ定義のカスタム・イメージと、イメージのリアルタイム・ステータス・インジケータが表すビューの CI が表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「カスタム・イメージ・コンポーネントのユーザ・インタフェース」を参照してください。</p>
Geographical Map	<p>ビューの CI に割り当てられた地理マップ上の地理的な場所に、リアルタイム・ステータス・インジケータが表示されます。ステータス・インジケータには、その地理的な場所にある CI の最悪ステータスが示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「隣接マップ」を参照してください。</p>
Health Indicators	<p>選択した CI の、現在のステータスの計算や設定に使用される状況インジケータに関する詳細が表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「状況インジケータ・ツールチップについて」を参照してください。</p>

コンポーネント名	説明
Hierarchy	<p>ビュー内の CI の階層、各 CI に割り当てられた KPI、およびそれらの KPI ステータスを表示します。詳細リンクが表示される階層コンポーネント内の CI を選択した場合、詳細リンクをクリックすると、CI に関する包括的なデータを提供する追加コンポーネントにアクセスできます。</p> <p>詳細については、『Service Health の使用』の「階層コンポーネントの概要」を参照してください。</p>
KPIs	<p>選択した CI の、経過時間ごとの KPI のステータスが表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「KPI コンポーネント」を参照してください。</p>
KPIs Distribution Over Time Report	<p>選択した CI および KPI のステータスの、経過時間ごとの分布が表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「経過時間ごとの KPI 分布」レポートを参照してください。</p>
KPIs Over Time Report	<p>選択した CI および KPI のステータスまたは値が、経過時間ごとに表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「経過時間ごとの KPI のレポート」を参照してください。</p>
KPIs Summary Report	<p>サービス状況アプリケーションからアクセス可能な、選択した CI および KPI のステータスのサマリが表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「KPI サマリ・レポート」を参照してください。</p>
KPIs Trend Report	<p>サービス状況アプリケーションからアクセス可能な、選択した CI および KPI のステータスのトレンドが表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「KPI トレンド・レポート」を参照してください。</p>
Neighborhood Map	<p>選択した CI の親 CI と子 CI が、インタラクティブな階層構造のグラフィックに表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「隣接マップ」を参照してください。</p>

コンポーネント名	説明
Top View	ビジネス・アプリケーションにマッピングされたリアルタイムの IT パフォーマンス・メトリックスを表す CI バーが、CI 間の関係を表す線のリンク付きで表示されます。詳細については、『Service Health の使用』の「トップ・ビュー」を参照してください。
Topology Map	インタラクティブな階層構造のグラフィックに、ビュー内の CI が表示されます。Topology Map では CI 間のリンクが表示され、CI を層やグループに分けて表示できます。詳細については、『Service Health の使用』の「トポロジ・マップ」を参照してください。
View Selector	各ビューには、ビューのリストと CI 階層が含まれます。このコンポーネントを使用すると、ビューの選択、CI の選択、または CI の検索ができます。ビュー・セレクタは、ビューまたは CI の選択に対応する、その他のコンポーネントでも使用されます。詳細については、『Service Health の使用』の「ビュー・セレクタ」を参照してください。

サービス・レベル管理

コンポーネント名	説明
Current Status	パフォーマンスが最も低い SLA 10 個の最新のステータスが表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「現在の期間表示枠」を参照してください。
Historic Status	過去 6 か月間でパフォーマンスが最も低い SLA が表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「ステータス・スナップショット」を参照してください。
SLA Selector	モデル・エクスプローラのインスタンスが、SLA のビューに固定されて表示されます。このコンポーネントは、SLA を選択して、ほかの SLM コンポーネントにワイヤリングを設定するために使用できます。

コンポーネント名	説明
SLA Status	計算期間の終わりの SLA 予測ステータスが、現在の SLA ステータスとの比較で表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「SLA ステータス・レポート」を参照してください。
SLA Summary	SLA のリストとそれぞれのステータスが、KPI、時間間隔、カレンダー、期間別にフィルタされて表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「SLA サマリ・レポート」を参照してください。
SLM CI Impact	CI が定義されたすべての SLA での CI の結果が、KPI、時間間隔、カレンダー、期間別にフィルタされて表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「CI の影響レポート」を参照してください。
SLM CI Status	CI とその子孫の結果が表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「CI ステータス・レポート」を参照してください。
SLM CI Summary	特定の SLA のすべての CI のサマリが表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「CI サマリ・レポート」を参照してください。
SLM CIs Over Time	選択した SLA の、一定期間の CI が表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「経過時間ごとの CI レポート」を参照してください。
SLM Outage Breakdown	1 つの SLA で選択した CI の、特定のカレンダーのすべてのサービス停止のブレイクダウンが表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「サービス停止ブレイクダウン・レポート」を参照してください。
SLM Outage Summary	測定（トランザクション、モニタ、サンプル）が失敗した、つまり、KPI のビジネス・ルールに定義された基準を満たさなかった期間が表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「サービス停止サマリ・レポート」を参照してください。
SLM Outages Distribution	選択した CI のサービス停止の分布が表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「サービス停止の分布レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
SLM Time Range Summary	4 レベルの CI のステータスが表示されます。選択した KPI およびカレンダーの、1 つの CI のステータス (SLA も可) とその子 CI のステータスが、時間範囲ごとの編成で表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「時間範囲比較レポート」を参照してください。

SOA

コンポーネント名	説明
Least Active Web Service/Operation	レポートの選択した時間範囲内で、受信した呼び出し数の最も低い（ほとんど使用されていない）上位 5 つの Web サービス / 操作を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Top Metrics Report」を参照してください。
Least Available Web Service/Operation	レポートの選択した時間範囲内で、可用性の最も低い上位 5 つの Web サービス / 操作の可用性を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Top Metrics Report」を参照してください。
Most Active Web Service/Operation	レポートの選択した時間範囲で、呼び出し数が最大の上位 5 つの Web サービス / 操作を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Top Metrics Report」を参照してください。
Slowest Web Service/Operation	レポートの選択した時間範囲内で、最も遅い上位 5 つの Web サービス / 操作を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Top Metrics Report」を参照してください。
SOA Consumer Summary	選択したビューに表示される指定 Web サービスまたは操作にアクセスするすべてのコンシューマについて、特定のメトリックスを表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Consumer Summary Report」を参照してください。

コンポーネント名	説明
SOA Metrics Over Time	サーバまたはコンシューマ別に、選択した Web サービスまたは操作へのアクセスを測定することにより、経過時間ごとのパフォーマンスを表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Metrics Over Time Report」を参照してください。
SOA Server Summary	選択した Web サービスまたは操作が実行されている、すべてのサーバの状況を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Server and Endpoint Summary Report」を参照してください。
SOA Worst Consumers	選択した Web サービス、操作、サーバがアクセスした 5 つのワースト・コンシューマについて成功 / 失敗した呼び出しを表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Consumer Summary Report」を参照してください。
SOA Worst Servers	選択した Web サービス、操作、コンシューマがアクセスした 5 つのワースト・サーバについて成功 / 失敗した呼び出しを表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Server and Endpoint Summary Report」を参照してください。
Web Service/Operation With Most Errors	レポートの選択した時間範囲で、エラー受信回数が最も高い上位 5 つの Web サービス / 操作を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Top Metrics Report」を参照してください。
Web Service/Operation With Slowest Number of Calls	レポートの選択した時間範囲内で、遅い呼び出し数の最も多い上位 5 つの Web サービス / 操作を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Top Metrics Report」を参照してください。
Web Services/Operations Health Summary	選択したビューに表示される指定 Web サービスまたは操作の状況を表示します。詳細については、『Solutions and Integrations』の「Health Report」を参照してください。

システム可用性管理

コンポーネント名	説明
Cross-Performance Report	SiteScope のデータ・コレクタが複数の SiteScope サーバから収集したインフラストラクチャ・マシン関連のデータが、監視対象サーバ、モニタ・タイプ、および測定値ごとにフィルタされて表示されます。詳細については、『システム可用性管理の使用』の「クロス・パフォーマンス・レポート」を参照してください。

トランザクション管理

コンポーネント名	説明
Transaction Capacity Planning Graph	トランザクションのスループット・データと、プロジェクトの将来のキャパシティ・レベルが表示されます。詳細については、『Using Transaction Management』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
Transaction Measurement Correlation Graph	x 軸上の期間と、y 軸上の選択した測定値の単位が表示されます。グラフの各ポイントは、先行する期間の合計または平均を示します。詳細については、『Using Transaction Management』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
Transaction State Graph	x 軸上の期間と、y 軸上のパーセンテージが表示されます。グラフに含まれるそれぞれの期間中の各トランザクションの状態が、個別のバーで表されます。詳細については、『Using Transaction Management』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
Transaction Summary Table	選択したビジネス・トランザクションのメトリックスが表示されます。メトリックス（選択するモードに応じて、ボリュームまたは貨幣価値で計算）は、異なるトランザクション別に分類されて表示されます。詳細については、『Using Transaction Management』の「RUM トランザクション・サマリ・レポート」を参照してください。

コンポーネント名	説明
Transaction Topology	ビジネス・トランザクションのフローを示す図が表示されます。詳細については、『Using Transaction Management』の「収集されたトポロジ・ページ」を参照してください。
Transaction Volume Analysis Graph	トランザクション・ボリュームと、トランザクションの成功、遅延、失敗のそれぞれの数が表示されます。詳細については、『Using Transaction Management』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。
Transaction Volume / Response Graph	選択したトランザクションの、トランザクション・ボリュームとエンドツーエンドの応答時間のグラフが表示されます。トランザクション・ボリュームは、トランザクション・インスタンスの数です。詳細については、『Using Transaction Management』の「経過時間ごとのトランザクション・レポート」を参照してください。

定義済みの MyBSM ページ - ユーザ・インタフェース

本項の内容

- 82 ページの 360 View
- 83 ページのカスタム イメージ ページ
- 84 ページの Diagnostics Dashboard ページ
- 85 ページの EUM Application Status ページ
- 86 ページの EUM Application Support 360 by BPM ページ
- 88 ページの EUM Application Support 360 by RUM ページ
- 89 ページの EUM High-Level Status ページ
- 90 ページの Geographic Map ページ
- 91 ページの Neighborhood Map ページ
- 92 ページの Process Diagram ページ
- 92 ページの Service Level Management ページ

94 ページの Topology Map ページ

95 ページの Top View ページ

360 View

このページには、選択したビューの CI のステータスに関する概要が表示されます。ビュー内の CI の階層、各 CI に割り当てられた KPI、それらの KPI ステータスが表示されます。

詳細リンクが表示される階層コンポーネント内の CI を選択した場合、詳細リンクをクリックすると次のコンポーネントにアクセスできます。ビジネス影響度、状況インジケータ、警告、変更およびインシデント。

このページは、サービス状況アプリケーションから取得されます。詳細については、『Service Health の使用』の「360° ビュー」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM またはサービス状況内で、[360° View] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

カスタム イメージ ページ

このページでは、選択したビューのカスタム・イメージを表示できます。リアルタイム・ステータス・インジケータで表現されるビューの CI と、背景のカスタム・イメージも表示されます。

このページは、サービス状況アプリケーションから取得されます。詳細については、『Service Health の使用』の「カスタム・イメージ・コンポーネントのユーザ・インタフェース」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM または サービス状況 内で, [Custom Image] ページを開きます。
重要な情報	<p>カスタム・ページの情報を表示するには、最初にサービス状況管理でイメージをセットアップする必要があります。詳細については、『Service Health の使用』の「カスタム・イメージの管理」を参照してください。</p> <p>このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。</p>

Diagnostics Dashboard ページ

HP Diagnostics をインストール済みの場合、[Diagnostics Dashboard] ページで Diagnostics CI を含むビューの選択、CI の選択、異なる Diagnostics Dashboard の表示ができます。Diagnostics によって表示されるデータは、選択した CI のタイプに基づきます。

Diagnostics Dashboard では、選択した CI について Diagnostics が収集したパフォーマンス・メトリックスのグラフが表示されます。たとえば、Windows NT ホスト CI タイプを選択した場合、その Windows システムの Diagnostics ホスト・ダッシュボード（単にグラフだけを表示するホスト・ビューの簡易版）が表示されます。

このページは、HP Diagnostics アプリケーションから取得されます。このページの詳細については、『HP Diagnostics Users Guide』の「MyBSM Diagnostics Dashboard Page」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM 内で、[Diagnostics Dashboard] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

EUM Application Status ページ

このページでは、アプリケーションのオンライン・ステータスが、アプリケーション、トランザクション、および関連する場所の経過時間ごとのステータスとともに、リアル・ユーザと合成ユーザの両方の視点から表示されます。

このページは、オンライン・ステータスと経過時間ごとのステータスの両方を確認する、アプリケーション・サポートまたはアプリケーションのオーナーやマネージャにとって便利です。

アクセス方法	MyBSM 内で、[EUM Application Status] ページを開きます。
重要な情報	この定義済みのページは、EUM アプリケーション・コンポーネントに基づいています。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。
関連情報	『エンド・ユーザ管理の使用』の「MyBSM の EUM ページ」

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
Application Status	選択したアプリケーションの経過時間ごとの全体的なステータスが、可用性、パフォーマンス、場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション・サマリ・レポート」を参照してください。
Hierarchy	ビュー内の CI の階層、各 CI に割り当てられた KPI、およびそれらの KPI ステータスを表示します。詳細については、『Service Health の使用』の「階層コンポーネントの概要」を参照してください。

UI 要素	説明
Location Status	選択したアプリケーションのパフォーマンスと可用性のステータスが、エンド・ユーザの場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」を参照してください。
Transaction Status	トランザクションの経過時間ごとの全体的なステータスが、可用性、パフォーマンス、場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。

EUM Application Support 360 by BPM ページ

このページには、アプリケーションのオンライン・ステータスが、トランザクション、関連する場所の経過時間ごとのステータスとともに、合成ユーザの視点から表示されます。

このページは、合成ユーザ・データを使用してパフォーマンスおよび可用性の問題を調査する、アプリケーション・サポートまたはアプリケーションのオーナーやマネージャにとって便利です。

アクセス方法	MyBSM 内で、[EUM Application Support 360 by BPM] ページを開きます。
重要な情報	この定義済みのページは、EUM アプリケーション・コンポーネントに基づいています。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。 アプリケーションの全体像を把握するには、アプリケーションのインフラストラクチャやビジネス・トランザクションを含むビューを使用することをお勧めします。こうしたビューは、APM の観点を使用して定義できます。
関連情報	『エンド・ユーザ管理の使用』の「[BPM による EUM アプリケーション サポート 360] ページを使用した問題のトラブルシューティング方法」

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
Hierarchy	ビュー内の CI の階層、各 CI に割り当てられた KPI、およびそれらの KPI ステータスを表示します。詳細については、『Service Health の使用』の「階層コンポーネントの概要」を参照してください。
Transaction Performance	トランザクションごとのパフォーマンス、可用性、ブレークダウンに関するサマリ情報が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「パフォーマンス・アナリシス・レポート」を参照してください。
Transactions Over Time	経過時間ごとのトランザクションのパフォーマンスおよび可用性が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「経過時間ごとの BPM パフォーマンス・レポート」を参照してください。
Triage	異なる場所からのトランザクションのパフォーマンスが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「選別レポート」を参照してください。

EUM Application Support 360 by RUM ページ

このページには、オンラインのアプリケーション・ステータスが、アプリケーション層、トランザクション、関連する場所のステータスとともに、リアル・ユーザの視点から表示されます。

このページは、リアル・ユーザ・データを使用してパフォーマンスおよび可用性の問題を調査する、アプリケーション・サポートまたはアプリケーションのオーナーやマネージャにとって便利です。

アクセス方法	MyBSM 内で、 [EUM Application Support 360 by RUM] ページを開きます。
重要な情報	この定義済みのページは、EUM アプリケーション・コンポーネントに基づいています。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。 アプリケーションの全体像を把握するには、アプリケーションのインフラストラクチャやビジネス・トランザクションを含むビューを使用することをお勧めします。こうしたビューは、APM の観点を使用して定義できます。
関連情報	『エンド・ユーザ管理の使用』の「[RUM による EUM アプリケーション サポート 360] ページを使用した問題のトラブルシューティング方法」

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
Application Infrastructure Summary	RUM 測定値に従って、実行中のソフトウェアまたはサーバのパフォーマンスおよび可用性が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM アプリケーション・インフラストラクチャ・サマリ・レポート」を参照してください。
Hierarchy	ビュー内の CI の階層、各 CI に割り当てられた KPI、およびそれらの KPI ステータスを表示します。詳細については、『Service Health の使用』の「階層コンポーネントの概要」を参照してください。

UI 要素	説明
Location Summary	問題によってどの場所が影響を受けたかが表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」および「RUM エンド・ユーザ・グループ・サマリ・レポート」を参照してください。
Sessions Over Time	可用性またはパフォーマンスの問題によって影響を受けるセッション・ボリュームおよびセッションに関する詳細が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション状況レポート」を参照してください。 注: セッション・アナライザにドリルダウンすることもできます。
Tiers Summary	ページと接続のパフォーマンスおよび可用性に関する詳細が表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「RUM 層サマリ・レポート」を参照してください。 注: アクション・サマリにドリルダウンすることもできます。

EUM High-Level Status ページ

このページでは、複数のアプリケーションや場所、およびそれらのアプリケーションのエンド・ユーザ・ステータスの高レベルのビューが、リアル・ユーザと合成ユーザの両方の視点から表示されます。

このページは、複数のアプリケーションや場所の全体的なステータスを確認する、NOC、LOB、またはアプリケーション・サポートを担当するマネージャなどのユーザにとって便利です。

アクセス方法	MyBSM 内で、[EUM High-Level Status] ページを開きます。
重要な情報	この定義済みのページは、EUM アプリケーション・コンポーネントに基づいています。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。
関連情報	『エンド・ユーザ管理の使用』の MyBSM の EUM ページ

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
Application Status	選択したアプリケーションの経過時間ごとの全体的なステータスが、可用性、パフォーマンス、場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「アプリケーション・サマリ・レポート」を参照してください。
Location Status	選択したアプリケーションのパフォーマンスと可用性のステータスが、エンド・ユーザの場所ごとに表示されます。詳細については、『エンド・ユーザ管理の使用』の「場所サマリ・レポート」を参照してください。

Geographic Map ページ

このページでは、リアルタイム・ステータス・インジケータと、それぞれが割り当てられている地理的場所に配置されたビューの CI を地理マップ上に表示できます。ステータス・インジケータには、その地理的な場所にある CI の最悪ステータスが示されます。また、CI の KPI に関する詳細情報へもアクセスできます。

このページは、サービス状況アプリケーションから取得されます。詳細については、『Service Health の使用』の「地理マップ・コンポーネントのユーザ・インタフェース」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM またはサービス状況内で、[Geographic Map] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

Neighborhood Map ページ

隣接マップには、選択した CI の親 CI と子 CI が、インタラクティブなグラフィックで表示されます。CI 間のリンクは、RTSM で定義されたとおりに、ビューの折りたたみなしで示されます。CI 間のリンクは、RTSM に示される物理リンクを表します。CI は、Neighborhood Map 内でレイヤに分かれて表示されるため、最も関心のあるレイヤ（ビジネスの有効化、インフラストラクチャ、ソフトウェアなど）に焦点を当てることができます。

このページは、サービス状況アプリケーションから取得されます。詳細については、『Service Health の使用』の「隣接マップのユーザ・インタフェース」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM またはサービス状況内で、[Neighborhood Map] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

Process Diagram ページ

Process Diagram では、BPI Modeler を使用してビジネス・プロセスを作成したときに、そのコンポーネントと構造が表示されます。表示されるデータは、BPI サーバから BSM に送信されるデータ・サンプルに基づきます。これにより、ビジネス・プロセスを視覚化できます。ビジネス・プロセスには、アクティビティの注釈が含まれていて、特定のアクティビティおよびプロセス値でいくつかのプロセス・インスタンスがアクティブであることを示します。

このページは、Business Process Insight アプリケーションから取得されます。詳細については、『Using Business Process Insight』の「BPI Application Health User Interface」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM 内で、[Process Diagram] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

Service Level Management ページ

このページでは、Service Level Management のユーザに SLA のステータスの簡単なスナップショットが提供されます。SLA ごとに、SLM のサマリ・レポートや、現在および過去のステータスのスナップショットを参照できます。

アクセス方法	MyBSM 内で、[Service Level Management] ページを開きます。
重要な情報	この定義済みのページは、SLM アプリケーション・コンポーネントに基づいています。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

ユーザ・インタフェース要素について次に説明します。

UI 要素	説明
Current Status Snapshot	パフォーマンスが最も低い SLA 10 個の最新のステータスが表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「現在の期間表示枠」を参照してください。
Historic Status Snapshot	過去 6 か月間でパフォーマンスが最も低い SLA が表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「ステータス・スナップショット」を参照してください。
SLA Selector	モデル・エクスプローラのインスタンスが、SLA のビューに固定されて表示されます。このコンポーネントを使用して、SLA を選択できます。
SLA Summary Report	SLA のリストとそれぞれのステータスが、KPI、時間間隔、カレンダー、期間別にフィルタされて表示されます。詳細については、『サービス・レベル管理の使用』の「SLA サマリ・レポート」を参照してください。

Topology Map ページ

トポロジ・マップにより、ビュー内の CI のインタラクティブなグラフィック表現を使用して、システム・コンポーネントのビジネス可用性をひとめで評価できます。[グループ] モードでは、CI は CIT または類似のアプリケーション・グループごと (ERP など) にグループ化されます。[レイヤ] モードでは、CI はレイヤに分けられるため、最も関心のあるレイヤ (ビジネスの有効化、インフラストラクチャ、ソフトウェアなど) に焦点を当てることができます。

このページは、サービス状況アプリケーションから取得されます。詳細については、『Service Health の使用』の「トポロジ・マップのユーザ・インタフェース」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM またはサービス状況内で、[Topology Map] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

Top View ページ

トップ・ビューでは、システム・コンポーネントのビジネス可用性がひとめでわかります。コンポーネント内の CI バーは、各ビュー用に定義された階層ツリー構造に基づいて、ビジネス・アプリケーションにマップされたリアルタイムの IT パフォーマンス・メトリックスを視覚的に表現します。バーどうしをつなぐ線は、CI 間の関係を定義します。

このページは、サービス状況アプリケーションから取得されます。詳細については、『Service Health の使用』の「トップ・ビュー・コンポーネントのユーザ・インタフェース」を参照してください。

アクセス方法	MyBSM またはサービス状況内で、[Top View] ページを開きます。
重要な情報	このページは定義済みです。別のタイプの情報を表示する場合、別のコンポーネントを使用してカスタム・ページを作成できます。カスタム・ページの作成の詳細については、19 ページ「MyBSM ワークスペースの作成方法」を参照してください。

索引

H

HP Software Web サイト 13
HP Software サポート Web サイト 12

M

MyBSM

一般的な情報 15
概要 16
権限 18
操作 19
標準設定のコンポーネント 59
標準設定のページ 54
用語集 17
レイアウト 22
ワークスペース 37
ワイヤリング 32

MyBSM での最大ページ数 36

MyBSM レガシ・ページ 57

P

[Page Repository Management] ダイアログ・ボックス 42

U

URL に基づいたコンポーネント 27

お

オンライン・リソース 12

か

外部コンポーネント 27
カテゴリの変更 34
カテゴリ, 操作 34

き

技術情報 12

け

欠落ページ, サービス状況 52

権限 18

こ

[コンポーネント ギャラリー] ダイアログ・ボックス 45

[コンポーネントの編集] ダイアログ・ボックス 47

コンポーネント, MyBSM の標準設定 59

し

[新規コンポーネント] ダイアログ・ボックス 47

と

トラブルシューティング
サービス状況 52

トラブルシューティングと技術情報 12

へ

ページ, MyBSM の標準設定 54

れ

レイアウトの設定 22

レイアウト, 設定 22

索引

わ

ワークスペース 37

ワイヤリング 32

[ワイヤリング] ダイアログ・ボックス 51